

## 目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	23
その他の展覧会	30
教育普及活動	31
ボランティア	34
連携事業	35
所蔵作品一覧	36
新収蔵作品一覧	49
所蔵作品貸出実績	50
入館者数一覧・パスポート会員数一覧	51
収支概要	52
島根県芸術文化センター条例	53
島根県立石見美術館管理規則	58
施設概要	61
運営組織体制	64
利用案内	65



### 島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

### 活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

### 島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

### 島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

## 展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	国立能楽堂開場25周年記念 国立能楽堂コレクション展 ～能の雅、狂言の妙～	平成20年 4月19日～5月26日
		KITTY EX. ハローキティとアート ファッションの幸福なコラボレーション展	平成20年 7月18日～9月23日
		開館3周年記念 なつかしの風景 大下藤次郎の水彩画	平成20年 10月10日～12月1日
		アメリカの見た夢 1920-30年代の絵画、写真、デザインと日本	平成21年 1月2日～3月9日
特別展	展示室A	島根の室町文化展	平成20年 4月23日～6月23日
	展示室A・B	ポワレとフォルチュニィ コルセットをめぐる冒険	平成20年 9月6日～11月3日
	展示室A	十二支をさがせ!	平成20年12月17日 ～平成21年2月16日
	展示室A	新発見!とっとり・しまね発掘速報展	平成21年 2月21日～3月15日
	展示室A	西晴雲	平成20年 7月16日～9月3日
	展示室B	平成の萬福寺出開帳展	平成20年 7月16日～9月3日
		observers 平川紀通	平成20年11月8日 ～平成21年1月5日
	展示室C	細江英公 薔薇刑	平成20年 5月24日～7月28日
		牛嶋均展	平成20年 10月3日～11月24日
		文化功労者顕彰記念 木のぬくもり 澄川喜一と木の彫刻	平成20年11月28日 ～平成21年1月19日
コレクション展	展示室A	感動の日本画、癒しの日本画	平成20年 6月25日～9月1日
		水墨画 雲谷派を中心に	平成20年 11月6日～12月15日
	展示室B	木版画の世界	平成20年 4月9日～7月14日
		パリの恋人たち	平成21年 1月8日～3月23日
	展示室C	「不思議」を切り取る	平成20年 4月10日～5月21日
		名画への招待 石見美術館油絵名品展	平成20年 7月30日～9月29日
1920～30年代のテキスタイル・デザイン展		平成21年 1月22日～3月30日	
その他の展覧会	展示室D	(財)独立書人団島根県支部 第30回記念 益田ブロック書展	平成20年 6月23日～6月25日
		第27回 益田市美術展	平成20年 10月2日～10月5日
		島根県高等学校文化連盟 美術工芸部門展	平成20年 12月11日～12月14日
		第41回 島根県総合美術展(県展)移動展	平成20年 12月18日～12月21日
		並河萬里写真展 ―ファイnderがとらえた世界遺産―	平成21年 3月20日～4月15日



展覧会ポスター



会場



会場



ワークショップ 「能を知る集いinグラントワ」

会 期：平成20年4月19日(土)～5月26日(月)  
 前 期：4月19日(土)～5月12日(月)、後期：5月14日(水)～5月26日(月)  
 休 館 日：毎週火曜日  
 観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・コレクション展セット]  
 一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円  
 ＊( )内は20名以上の団体料金。  
 ＊小中高生の学校利用は無料。  
 ＊障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、NHK松江放送局、NHKプラネット中国  
 後 援：文化庁  
 協 賛：日本写真印刷株式会社  
 特別協力：独立行政法人日本芸術文化振興会 国立能楽堂  
 制作協力：NHKプロモーション

## 内 容

わが国の伝統芸能である能楽(能と狂言)は、室町時代初期の成立から600年以上もの歴史を誇る貴重な無形文化財である。本展は国立能楽堂の開場25周年を記念して行われたもので、国立能楽堂が20年以上にわたり収集してきた貴重な資料を一堂に披露する、初めての機会となった。国立能楽堂所蔵の能・狂言面、能・狂言装束、楽器、謡本、絵画資料の展示により、能楽の文化と歴史を紹介し、あわせて関連事業として複合施設ならではの能や狂言の上演、ワークショップを実施した。

## 展覧会紹介記事

染織新報3月26日 [展覧会紹介]  
 能楽タイムス4月号 [展覧会紹介]  
 中国新聞4月20日 [展覧会開幕]  
 読売新聞4月20日 [展覧会開幕]  
 朝日新聞4月20日 [展覧会開幕]  
 山陰中央新報4月20日 [展覧会開幕]  
 中国新聞5月16日 樹下文隆[「国立能楽堂コレクション展」に寄せて]  
 中国新聞5月20日 [講演会開催]  
 読売新聞5月21日 [「はじめての狂言鑑賞会」開催]  
 中国新聞5月21日 [「はじめての狂言鑑賞会」開催]  
 読売新聞5月21日 [「はじめての狂言鑑賞会」開催]

## 印 刷 物

展覧会ポスター：B2  
 展覧会チラシ：A3二つ折り  
 (デザイン：すべて日本写真印刷株式会社)

## 関連事業

## いつでもどこでも音楽祭 「異界への誘い～笛と謡～」

演 目：「高砂」より次第、待謡、神舞、キリ／「第三夜」(夏目漱石『夢十夜』より)  
 日 時：4月26日(土)11:00～11:30  
 出 演：安田 登(能楽下掛宝生流ワキ方)、槻宅 聡(能楽森田流笛方)  
 会 場：美術館ロビー  
 鑑 賞 者：40名

## ワークショップ 「能を知る集いinグラントワ」

日 時：4月26日(土)13:00～15:00  
 講 師：安田 登(能楽下掛宝生流ワキ方)、槻宅 聡(能楽森田流笛方)  
 会 場：スタジオ1  
 参 加 者：34名



能面講座 「能面に触れて親しもう」

**能面講座 「能面に触れて親しもう」**

日 時：4月29日(火・祝)14:00～15:30  
 講 師：松田 龍仁(能面師)  
 会 場：講義室  
 聴 講 者：82名

**講演会 「描かれた芸能 一室町から江戸初期の能舞台を中心に」**

日 時：5月18日(日)14:00～15:30  
 講 師：奥平 俊六(大阪大学大学院文学研究科教授)  
 会 場：講義室  
 聴 講 者：45名



講演会

**室町文化フェスティバル協賛 能楽公開レッスン「能楽事始め」**

日 時：5月6日(火・祝)13:30～16:00  
 講 師：粟谷 能夫 一門(喜多流能楽師)  
 主 催：能楽の祭典実行委員会  
 会 場：大ホール  
 鑑 賞 者：450名

**「NHK はじめての狂言鑑賞会！」**

日 時：5月20日(火)10:30～12:00  
 講 師：茂山狂言会(狂言方大蔵流)  
 主 催：NHK松江放送局  
 会 場：大ホール  
 鑑 賞 者：1,500名

**オリジナル「風呂敷」プレゼント**

この展覧会は前期と後期で作品が大幅に入れ替わったため、前・後期両方を観覧した方先着800名に、「室町文化フェスティバル」のロゴ・マークをあしらったオリジナル「風呂敷」をプレゼントした。

## 企画展 KITTY EX. ハローキティとアート ファッションの幸福なコラボレーション展



展覧会ポスター



会場



会場



1万人セレモニー

会 期：平成20年7月18日(金)～9月23日(火・祝)

休 館 日：火曜日(8月12日、9月23日は開館)

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
前売券[企画・コレクション展セット]  
一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\*小中高生の学校利用は無料。

\*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館 中国新聞社 日本海テレビジョン放送株式会社

後 援：エフエム山陰

企 画：デジタルハリウッド エンタテインメント

## 内 容

日本はもとより今や世界中で愛されているキャラクター、ハローキティ。1974年に誕生し、30年以上にわたって愛されつづけるキティは、単なる一過性のキャラクターを超えた、文化的な価値のあるコンテンツであるということもできよう。

この「KITTY EX.」展には、そうしたハローキティの持つ魅力を理解する多くのアーティストやデザイナーが参加。映像、絵画、写真、インスタレーションなどを体験することで、キティの魅力を再発見できるきっかけとなった。

## 展覧会紹介記事

中国新聞7月19日 [展覧会開幕]

読売新聞7月24日 [展覧会開幕]

中国新聞8月11日 [「喜茶」紹介記事]

中国新聞9月21日 [入館者一万人達成]

THE DAILY YOMIURI 9月5日 Tom Baker [I am Kitty; hear me purr What explains the character's massive popularity?]

等

## 印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

## 関連事業

## 「サンリオ ドリームミュージカル」

ハローキティをはじめとするサンリオのキャラクターが出演するミュージカルを実施

日 時：7月20日(日)開演 11:00 開演 14:00

会 場：「グラントワ」大ホール

鑑 賞 者：1240名

## 講演会 「なぜみんな、キャラクターが好きなの？ キャラクター文化と現代美術」

私たちはなぜ、こんなにもキャラクター文化に親しんでいるのか、そのことについて、現代美術との関わりから、お話いただいた。

日 時：7月27日(日)14:00～15:30

講 師：谷川 眞美(静岡文化芸術大学准教授)

会 場：講義室

聴 講 者：15名

## ワークショップ 「「よそいき」を創ろう part.2 自分の「キャラ」を創ろう」

参加者に使わなくなった服やバッグなどを持参してもらい、ビーズやスパンコールなどの飾りをつけて「よそいき」をつくった。今回は自分でキャラクターをつくって飾り付けた。

日 時：8月2日(土)、9月20日(土)14:00～17:00

会 場：講義室

参 加 者：計47名



ワークショップ 「よそいき」を創ろう part.2



ワークショップ@グラントワ  
「よそいき」をつくろう part2

### 自分の「キャラ」をつくろう

森英恵展の時に大好評だったワークショップ「よそいき」を創ろう。今回は、キティ・エクス展にあわせ、自分でキャラクターを考えてみます。そしてそれを洋服やバッグなどにかざりつけ、「よそいき」に変身させます。プレゼント用のラッピングも用意しています。つくったものをそのままプレゼントすることも！

日時：8月2日（土）、9月20日（土）14時→17時  
（注意！ 2回連続のワークショップではありません）

会場：講義室

対象：どなたでも（小学校3年生以下は保護者同伴）  
申込：島根県立石見美術館（TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1878）  
参加者の住所、氏名、電話番号、学年、参加ご希望の日をお知らせ下さい。  
必要なもの：飾り付けしたい洋服、バッグ、小物など持参ください。

ワークショップ 「よそいき」を創ろう part.2 チラシ



ワークショップ 「ボディペイント」

## ワークショップ 「ボディペイント」

ステンシルの手法で、ハローキティなどのキャラクターを、参加者の腕などにペイントした。

日時：8月9日（土）、13日（水）、14日（木）、9月21日（日）14：00～

会場：展示前室

参加者：計242名

## グラントワTea ガーデン 「喜茶」

恒例となった季節のお茶をふるまう企画。展覧会にあわせ「喜茶（たのしちや）」と銘打ち、お盆と重陽の節句の時期にあわせ実施した。

日時：8月10日（日）、9月15日（月・祝）11：00～

会場：美術館ロビー

参加者：計160名

## 「思い出のキティ」大募集+展示

一般の方から「思い出のキティ」グッズを募集し、回廊に展示した。

展示期間：展覧会会期中

参加者：20名

## オリジナルステッカープレゼント

会期中毎日、先着50名様に本展覧会オリジナルのステッカーをプレゼントした。





展覧会ポスター



会場



会場



開会式

会 期：平成20年10月10日(金)～12月1日(月)  
 前 期：10月10日(金)～11月3日(月・祝)、後期：11月5日(水)～12月1日(月)  
 休 館 日：毎週火曜日  
 観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・コレクション展セット]  
 一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円  
 \*( )内は20名以上の団体料金。  
 \*小中高生の学校利用は無料。  
 \*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞大阪本社、美術館連絡協議会、日本海テレビジョン株式会社

特別協力：美術出版社

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷

内 容

明治時代に活躍した水彩画家、大下藤次郎の回顧展。開館3周年を記念し、当館が所蔵する200点にのぼる水彩画および日記やスケッチブックなどの資料を一堂に公開した。

旅と自然を愛した大下が描いた各地の風景画を中心に、出版活動や講習会など水彩画普及運動についても紹介し、明治時代の水彩画をリードした大下の活動の全貌を明らかにした。

展覧会紹介記事

- 読売新聞4月30日 [展覧会紹介]
- 読売新聞9月26日 [展覧会紹介]
- 中国新聞10月8日 [展覧会紹介]
- 山陰中央新報10月9日 川西由里「美術と自然を愛する心 水彩画家大下藤次郎の軌跡」
- 読売新聞10月11日 [展覧会開幕]
- 山陰中央新報10月12日 [展覧会開幕]
- 朝日新聞10月24日 [展覧会開催]
- 山陰中央新報11月1日 [展覧会紹介]
- 中央公論11月号 川西由里 [展覧会紹介]

印刷物

『大下藤次郎の水彩画 島根県立石見美術館所蔵 大下藤次郎作品集』  
 内 容：図版 カラー348点、モノクロ151点  
 執 筆：原田 光 「みつゑ一辺倒」  
 川西 由里 コラム「大下藤次郎と原田直次郎」「大下藤次郎と三宅克己」「大下藤次郎と島根」「大下藤次郎と森鷗外」「大下藤次郎の人物画」「花を描く」  
 判 型：A4変形版(256mm×192mm) 224ページ  
 編 集：川西 由里  
 発 行 所：株式会社美術出版社  
 発 行 人：大下 健太郎  
 デザイン・制作：垣本 正哉、森重 智子  
 タイトルロゴ：野村 勝久(野村デザイン制作室)

展覧会ポスター：B2  
 展覧会チラシ：A4  
 オリジナルグッズ「スティックガーデン」  
 (デザイン：すべて野村デザイン制作室)



ワークショップ 「再現!百年前の水彩画講座」



ワークショップ 「再現!百年前の水彩画講座」



絵手紙

関連事業

ワークショップ 「再現!百年前の水彩画講座」

講 師:真住 貴子(当館学芸グループ課長)  
日 時:10月25日(土)14:00~17:00  
会 場:講義室  
参 加 者:15名

オープンスタジオ 「水彩で絵てがみを描こう」

講 師:当館学芸員  
日 時:11月1日(土)、11月30日(日)13:00~16:00  
会 場:多目的ギャラリー  
参 加 者:計27名

連続美術講座 「大下藤次郎と明治の美術」

1「油絵解剖学—もっと見たくなる近代洋画」

講 師:左近充 直美(島根県立美術館主任学芸員)  
日 時:10月18日(土)14:30~15:30

2「青い目が見た明治ニッポン!—大下藤次郎とイギリスの水彩画家たち」

講 師:真住 貴子(当館学芸グループ課長)  
日 時:11月15日(土)14:30~15:30

3「あなたもファンになる!—大下藤次郎、生き方と作品の魅力」

講 師:川西 由里(当館主任学芸員)  
日 時:11月22日(土)14:30~15:30  
会 場:講義室

聴 講 者:計43名

プレミアムコンサート 「なつかしの風景を奏でる」

出 演:こゆみこ(ピアノ:折重 由美子、ベース:前田 順三、ドラムス:吉岡 洋充、ギター:小田原 政広、バイオリン:市山 信子)  
日 時:11月9日(日)18:30開演  
会 場:美術館展示前室  
鑑 賞 者:45名

ギャラリートーク(作品解説)

講 師:当館学芸員  
日 時:10月19日(日)、11月2日(日)、11月16日(日)、11月30日(日)  
いずれも14:00~  
会 場:展示室D  
参 加 者:計48名

オリジナル「スティックガーデン」プレゼント

この展覧会は、前期と後期とで作品が大幅に入れ替わったため、前・後期両方を観覧した方先着500名に、「スティックガーデン」(ハーブの種が封入されたしおり)をプレゼントした。

## 企画展 アメリカの見た夢 1920-30年代の絵画、写真、デザインと日本



展覧会ポスター



会場



会場

会 期：平成21年1月2日(金)～3月9日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\*小中高生の学校利用は無料。

\*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、朝日新聞社、山陰中央テレビ

後 援：関西アメリカン・センター

協 賛：竹風軒

## 内 容

第一次世界大戦後、圧倒的な経済力を誇ったアメリカでは、大衆消費社会が急速に進展した。本展覧会では、1920-30年代のアメリカ社会を映し出した写真、一般的な家庭にも広がったモダンなデザインの自動車、家電、家具や食器などを紹介した。またアメリカで活躍した日本人画家の絵画など、日米の交流を示す作品や資料によって、両国の美術・デザインのかかわりをさぐった。

## 展覧会紹介記事

朝日新聞12月14日 [開催告知]

山陰中央新報12月21日 [展覧会紹介] 南目 美輝 山陰ミュージアムウォーク「消費社会への進展の足跡」

山陰中央新報12月25日 [展覧会紹介]「流線形ボディ「コード810」搬入」

朝日新聞12月27日 [展覧会紹介]「1930年代 米「幻の車」ここに」

中国新聞12月31日 [展覧会紹介]「「古き良きアメリカ」200点展示」

朝日新聞1月3日 [展覧会紹介]「益田市内で開幕 12日に音楽会も」

山陰中央新報1月6日 [展覧会紹介]「米モダンライフの「夢」」

読売新聞1月9日 [展覧会紹介]「懐かしいアメリカ文化」

朝日新聞1月22日 柴田 元幸(東京大学文学部教授)「時代をつなぐ」

朝日新聞1月31日 [作品紹介] 河野 克彦「フロイド・バロウズの小屋の室内、ヘイル郡、アラバマ(ウォーカー・エバンズ)」

朝日新聞2月2日 [作品紹介] 河野 克彦「もの思う女(国吉康雄)」

朝日新聞2月3日 [作品紹介] 河野 克彦「コード810」

朝日新聞2月11日 [作品紹介] 南目 美輝「デイ・ドレス(ジルベルト・エイリアン)」

毎日新聞2月22日 [展覧会紹介]「アメリカの見た夢」

朝日新聞2月24日 [作品紹介] 河野 克彦「ディナー・セット「アザレア」」

朝日新聞3月1日 [展覧会紹介]「「アメリカの見た夢」展 講演会」

## 印刷物

展覧会図録「アメリカの見た夢 1920-30年代の絵画、写真、デザインと日本」

内 容：図版 絵画、写真、デザイン、衣装等 136点

執 筆：森 仁史 「日本とアメリカ対岸の合わせ鏡として」

真住 貴子 コラム1「渡米画家は「大自然」を描かない」

南目 美輝 コラム2「「パリは死んだ、ニューヨーク万歳！」ークレア・マッカーディルと「アメリカンルック」の登場」

川西 由里 コラム3「アメリカをまとった日本女性ーハリウッド女優とモダンガール」

河野 克彦 「1930年代の日本が見たアメリカー国立工芸指導所の産業工芸とアメリカの工業デザイン」

判 型：A4変形版(285mm×200mm) 128ページ

編 集：河野 克彦

デザイン：野津 敏靖(PROJECT)

印 刷：島根印刷株式会社

発 行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2  
 展覧会チラシ：A3二つ折り  
 オリジナルグッズ：クリアフォルダ  
 (デザイン：すべてPROJECT)

#### 関連事業

#### 記念講演会1 「遠くて近い・近くて遠いーアメリカと日本」

講師：森 仁史(松戸市教育委員会学芸員)  
 日時：2月1日(日)14:00～15:30  
 会場：講義室  
 聴講者：30名



記念講演会1

#### 記念講演会2 「1920-30年代のアメリカ文化」

講師：柴田 元幸(東京大学文学部教授)  
 日時：2月28日(土)14:00～15:30  
 会場：多目的ギャラリー  
 聴講者：60名

#### ワークショップ1 「キッズ・ファッションショー」

「ワークショップ」では参加した子供たちが、「アメリカ」をキーワードのひとつにして、自分だけのファッションを素材から作った。「発表会」では、作った服を着て、ファッションショーとして自分のイメージを表現した。

講師：水谷 由美子(山口県立大学教授)、堀内 充(バレエダンサー・振付家)、岩佐久美子(バレエダンサー)  
 参加者：計115名

##### ①ワークショップ

日時：12月14日(日)、23日(火・祝)、1月5日(月)、10日(土)、11日(日)各日とも  
 13:00～17:00  
 会場：講義室

##### ②発表会

日時：1月12日(月・祝)11:00～  
 会場：小ホール



記念講演会2

#### ワークショップ2 「チョコレートで彫刻をつくって食べよう!」

講師：オーギカナエ(アーティスト)  
 日時：2月7日(土)13:00～  
 会場：多目的ギャラリー  
 参加者：30名



ワークショップ2  
 「チョコレートで彫刻をつくって食べよう!」

#### 開幕記念コンサート 「白石光隆ピアノ&ラプソディ・イン・ブルー」

指揮：廣兼 伸俊  
 出演：白石 光隆(ピアノ)、グラントワ・アメリカン・ブラス  
 日時：1月12日(月・祝)14:00～  
 会場：大ホール  
 鑑賞者：741名

#### 「いつでもどこでも音楽祭」計6回(10公演)

会場：美術館ロビー、スタジオ  
 鑑賞者：計950名

##### Vol.1

日時：1月2日(金)12:00～  
 出演：増野 衣里(フルート)、藤本 宏平(ピアノ)  
 曲目：ブーランク「フルート・ソナタ」、ドビュッシー「ベルガマスク組曲」ほか

##### Vol.2(『白石光隆ピアノ&ラプソディ・イン・ブルー』プレコンサート)

日時：1月11日(日)12:00～  
 出演：白石 光隆(ピアノ)  
 曲目：ベートーヴェン「トルコ行進曲の主題による変奏曲ニ長調op.76」ほか



開幕記念コンサート



いつでもどこでも音楽祭

## Vol.3

日 時：1月18日(日)13:00～、15:30～

出 演：スウィングフェニックス

曲 目：「In The Mood」、「Route66」、「A列車で行こう」ほか

## Vol.4

日 時：2月1日(日)11:00～、13:00～

出 演：中山 ゆき子(ヴァイオリン)、杉本 孝一(ピアノ)

曲 目：「オール・オブ・ミー」、「エンターティナー」ほか

## Vol.5

日 時：2月8日(日)11:00～、13:00～

出 演：稲垣 節子(フルート)、吉山 典克(トロンボーン)、阿知波 美和(ピアノ)

曲 目：「ホール・ニュー・ワールド」、「幸せなら手をたたこう」ほか

## Vol.6

日 時：3月1日(日)11:00、13:00～

出 演：杉本 孝一(サクソ)、米谷 圭代(サクソ)、中村 真弓(ピアノ)

曲 目：「日本の四季メドレー」、「サクソフォーンのためのソナタ」ほか

## Grantワシアター1 「アンタッチャブル」

日 時：1月17日(土)10:00～、14:00～、18:30～

会 場：小ホール

入 場 者：計179名

## Grantワシアター2 「かけひきは、恋のはじまり」

日 時：2月14日(土)14:00～、18:30～

会 場：小ホール

入 場 者：計187名

## 新春運だめし 「福引き」

日 時：1月2日(金)10:00～16:00

会 場：回廊

参 加 者：300名

## Grantワ tea ガーデン 「大福茶」

日 時：1月2日(金)、3日(土)各日とも11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：計160名

## ギャラリートーク(作品解説)

講 師：河野 克彦(当館主任学芸員)

日 時：1月3日(土)、1月10日(土)、1月24日(土)、2月14日(土)、2月21日(土)、3月7日(土)14:00～

会 場：展示室D

参 加 者：計50名

## オリジナル「クリアフォルダ」プレゼント

1月2日(金)から2月2日(月)まで毎日、先着30名にオリジナル「クリアフォルダ」をプレゼントした。

## 特別展

## 展示室A 島根の室町文化展

会 期：平成20年4月23日(水)～6月23日(月)

内 容：島根県立古代出雲歴史博物館の全面的な協力を得て、室町時代の貴重な美術品を数多く集めた。重要文化財益田元祥像も特別展示。

## 出品リスト

No.	分類	指定	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	絵画		柿本人麿像	室町時代	絹本着色	島根県立古代出雲歴史博物館
2	絵画		六大黒曼荼羅図	室町時代・戦国時代	絹本着色	島根県立古代出雲歴史博物館
3	絵画	重要文化財	益田元祥像	戦国時代(1582～1592)	絹本着色	島根県立石見美術館
4	彫刻		大黒天立像	室町時代・戦国時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
5	彫刻		僧形坐像	室町時代	木造	益田市・櫛代賀姫神社
6	彫刻		男神像	室町時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
7	彫刻		男神像	室町時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
8	彫刻		男神像	室町時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
9	彫刻		女神像	室町時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
10	彫刻		女神像	室町時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
11	彫刻		女神像	室町時代	木造	島根県立古代出雲歴史博物館
12	彫刻	大田市指定	神像・僧形坐像	室町時代	木造	大田市・喜多八幡宮
13	彫刻	大田市指定	神像・刻銘證請殿	室町時代	木造	大田市・喜多八幡宮
14	彫刻	大田市指定	神像・刻銘千手	室町時代	木造	大田市・喜多八幡宮
15	彫刻	大田市指定	神像・刻銘薬師	室町時代	木造	大田市・喜多八幡宮
16	彫刻	県指定	舞楽面「納曽利」	室町時代	木造	出雲市・須佐神社
17	彫刻		舞楽面	室町時代	木造	出雲市・比布智神社
18	彫刻	県指定	能面「孫次郎」	室町時代(1551年)	木造	安来市・富田八幡宮
19	彫刻	県指定	能面「中将」	室町時代	木造	安来市・富田八幡宮
20	彫刻		獅子頭	室町時代	木造	邑南町・賀茂神社
21	工芸	県指定	雲板	室町時代(1407年)	銅製	大田市・崇福寺
22	工芸	県指定	鰐口	室町時代(1460年)	銅製	安来市・八幡宮
23	工芸	県指定	鰐口	室町時代(1562年)	銅製	雲南市・寿福寺
24	工芸		六部奉納品	室町時代	銅製	島根県立古代出雲歴史博物館

## 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)

## 展示室A、B ポワレとフォルチュニィ コルセットをめぐる冒険

会 期：平成20年9月6日(土)～平成20年11月3日(月・祝) \*前期9月6日(土)～10月6日(月)、後期10月8日(水)～11月3日(月・祝)

内 容：20世紀初頭女性ファッションはコルセットを放棄し劇的に変化する。こうした動きを先導したデザイナー、ポワレとフォルチュニィを中心に、19世紀のドレスやコルセットそのものなども紹介した。

なお、本展は会場にあわせて内容を再構成し、東京都庭園美術館でも開催された。(平成21年01月31日(土)～3月31日(火))

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵	前期	後期
1	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	薄茶色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。ベルト。	共立女子大学		○
2	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。飾り紐。	島根県立石見美術館		○
3	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。	島根県立石見美術館	○	
4	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1920年頃	セイジ・グリーン色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。	神戸ファッション美術館	○	
5	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1920年代	青色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。	共立女子大学		○
6	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1920～30年	紫色の絹サテン。襟ぐりにトンボ玉。飾り紐。	共立女子大学	○	
7	マリアノ・フォルチュニィ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1920年頃	サーモン・ピンク色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。	共立女子大学	○	

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵	前期	後期
8	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1920年代	マッシュルーム色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。ベルト。	共立女子大学		○
9	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1920年代	青緑色の絹サテン。アーム・ホール、脇線にトンボ玉。ベルト。	共立女子大学	○	
10	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1920～30年代	赤色の絹サテン。袖にトンボ玉。ベルト。	共立女子大学		○
11	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1920年頃	ワインレッドの絹サテン。上衣袖上、脇線、裾にトンボ玉。ベルト。	神戸ファッション美術館		○
12	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1920年代	紫色の絹サテン。脇線、裾にトンボ玉。	神戸ファッション美術館		○
13	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1930年代後半	アイボリーの絹サテン。上衣脇線、裾にトンボ玉。	神戸ファッション美術館	○	
14	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス 「デルフォス」	1920年代	薄茶色の絹サテン。上衣アーム・ホール、脇線、裾にトンボ玉。	共立女子大学	○	
15	マリアノ・フォルチュニ	ドレス	1920年頃	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。袖下と脇に絹サテンを挟み込み。脇にトンボ玉。	共立女子大学	○	
16	マリアノ・フォルチュニ	ドレス	1920年代	ベージュの絹ベルベットに青色のステンシル・プリント。袖下と脇に絹サテンをはさみ込み。脇にトンボ玉。	共立女子大学		○
17	マリアノ・フォルチュニ	ドレス	1920年代	銀色の絹ベルベットに橙色のステンシル・プリント。袖下と脇に絹サテンをはさみ込み。脇にトンボ玉。	共立女子大学	○	
18	マリアノ・フォルチュニ	ドレス「タバル」	1930年代	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。袖下と脇に絹サテンをはさみ込み。脇にトンボ玉。	神戸ファッション美術館		○
19	マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバル」	1910年代	黒色の絹ゴーズに金色のステンシル・プリント。脇線、裾にトンボ玉。	島根県立石見美術館		○
20	マリアノ・フォルチュニ	コート	1920年代	黒色の絹ゴーズに金色のステンシル・プリント。前中心、脇線にトンボ玉。	共立女子大学		○
21	マリアノ・フォルチュニ	オペラ・ジャケット	1920年代	アイボリー色の絹ゴーズに明褐色のステンシル・プリント。前中心、裾にトンボ玉。	神戸ファッション美術館	○	
22	マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑色の絹ベルベットにピンク色のステンシル・プリント。金色でステンシル・プリントされた錆赤の絹ベルベットでトリミング。	島根県立石見美術館	○	
23	マリアノ・フォルチュニ	ローブ	1910年代	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。	共立女子大学		○
24	マリアノ・フォルチュニ	コート	1920年頃	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。袖口、襟、裾にベージュの絹サテンで縁飾り。	共立女子大学	○	
25	マリアノ・フォルチュニ	ジャケット「キモノ」	1925年頃	緑色の絹サテンにハンドペイント。フォルチュニ婦人旧蔵	神戸ファッション美術館	○	○
26	マリアノ・フォルチュニ	ジャケット	不詳	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。前中心にトンボ玉。	共立女子大学	○	
27	マリアノ・フォルチュニ	コート	不詳	水色の絹ベルベットに金銀色のステンシル・プリント。	共立女子大学		○
28	マリアノ・フォルチュニ	オペラ・コート	1920～30年	モスグリーンの絹ベルベットに銀色のステンシル・プリント。	共立女子大学	○	
29	マリアノ・フォルチュニ	コート	不詳	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。前中心に紐。	共立女子大学	○	
30	マリアノ・フォルチュニ	コート	不詳	黒色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。金色でステンシル・プリントされた茶色の絹ベルベットでトリミング。	共立女子大学		○
31	マリアノ・フォルチュニ	ドレス	不詳	明るい青色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。襟に紐。	共立女子大学	○	
32	マリアノ・フォルチュニ	ジャケット	不詳	茶褐色の絹ベルベットに金色のステンシル・プリント。襟に紐。	共立女子大学		○
33	マリアノ・フォルチュニ	フード付きケープ	1930年代	ローズ・ピンクの絹ベルベットに多色のステンシル・プリント。裏地は緑色の絹にステンシル・プリント。	神戸ファッション美術館	○	

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵	前期	後期
34	マリアノ・フォルチュニ	コプト風コート	1920年代	ワインレッドの絹サテン。前中心、前身頃、袖にトンボ玉。裏地は緑色の絹。	共立女子大学	○	
35	マリアノ・フォルチュニ	コプト風コート	1920年代	緑色の絹サテン。前中心、前身頃、袖にトンボ玉。裏地は赤色の絹。	共立女子大学		○
36	マリアノ・フォルチュニ	テキスタイル	1925年頃	緑色の絹ベルベットに金色でステンシル・プリント。	共立女子大学		○
37	ポール・ポワレ	イヴニング・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテンに中東風モチーフを金糸で刺繍。前中心の紐にタッセル。裏地は茶色の絹サテン。ドウニース・ポワレ旧蔵。	島根県立石見美術館	○	
38	ポール・ポワレ	ガーデン・パーティ・ドレス	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディスとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。ドウニース・ポワレ旧蔵。	島根県立石見美術館		○
39	ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1912年頃	クリーム色の絹に花や葉の模様をプリント。袖口、裾に暗紫色の絹ファイユでトリミング。	神戸ファッション美術館	○	
40	ポール・ポワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとグリーン絹シフォン。銀ブレードの縁飾り。ローウエストのバンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。	島根県立石見美術館	○	
41	ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年代	アイボリーの絹シャンタン。	島根県立石見美術館		○
42	ポール・ポワレ	イヴニング・ドレス	1920年頃	銀ラメのシルク地にフェイク・パールやビーズを刺繍したボディスと絹ゴーズのハーレムパンツ。刺繍のあるスカート風のを重ねる。	神戸ファッション美術館		○
43	ポール・ポワレ	オペラ・コート	1920年頃	黒色の絹サテン。襟に中国風モチーフを施した絹プロケード。裏地は紫色の絹。	神戸ファッション美術館	○	
44	ポール・ポワレ	デイ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウールと青色の絹ベルベットに東洋風モチーフを刺繍。後ろ身頃に飾りベルト。ドウニース・ポワレ旧蔵。	島根県立石見美術館		○
45	ポール・ポワレ	イヴニング・ドレス	1926年頃	黒色の絹シフォンと絹チュールに金色のブレードと金糸による縁飾り。ウエストにリボン。	神戸ファッション美術館		○
46	ポール・ポワレ	デイ・コート	1925～26年頃	黒色の絹。衿元、袖口、ポケットにボタン飾り。裏地は赤色の絹。	神戸ファッション美術館	○	
47	ポール・ポワレ	イヴニング・コート	1926年頃	市松模様の絹。襟、袖、裾に黒色絹サテンでトリミング。	神戸ファッション美術館	○	
48	ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1920年代	海辺のシーンをプリントした絹グログラン。テキスタイルデザインはラウル・デュフィ。ドウニース・ポワレ旧蔵。	島根県立石見美術館		○
49	ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1920年代	赤紫色の絹クレープ・デ・シンに、藤色と紫色のプリーツのある絹。前身頃とウエストに、金糸で東洋風モチーフを刺繍。	島根県立石見美術館		○
50	ポール・ポワレ	オペラ・コート	1920～30年頃	黒色の絹ベルベット。ウエストにジグザグの切り替え。不規則なヘムライン。	神戸ファッション美術館		○
51	ポール・ポワレ	イヴニング・ドレス	1933～35年	身頃には青色の絹ベルベット、パンツには銀を打ち込んだ絹ネットを使ったコンビネゾン。ネットのオーバー・スカートの裾にフープ入り。	神戸ファッション美術館	○	



## 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)

## 展覧会紹介記事

エール通信Vol.380 9月11日 [展覧会紹介]

エール通信Vol.381 9月21日 [展覧会紹介]

## 関連事業

ギャラリートーク(作品解説)

9月6日(土)、10月18日(土) 各日14:00～

講師：南目 美輝(当館主任学芸員)



展覧会チラシ



会場



会場

## 展示室A 十二支をさがせ!

会期：平成20年12月17日(水)～平成21年2月16日(月)

内容：年末年始にあわせて、十二支にちなんだ作品を集めた。島根県立美術館、島根県立古代出雲歴史博物館からも作品を借用。鑑賞者が十二支の動物たちを探しながらクイズに答えるワークシートを作成した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	川村 曼舟	牧牛図屏風	大正時代	絹本着色、六曲一隻屏風	島根県立石見美術館
2	川村 清雄	緑陰牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
3	尊俊	竜虎図	室町時代後期(16世紀)	紙本墨画、対幅	島根県立石見美術館
4	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図屏風	明治33年(1900)	絹本着色、六曲一双屏風	島根県立石見美術館
5	今尾 景年	雪南天狗児図	明治31年(1898)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
6	伊藤 若冲	鶏図	寛政元年(1789)	絹本着色、軸	島根県立美術館
7	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～67年	ウール(羊毛)	島根県立石見美術館
8	アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	ウール(羊毛)、革	島根県立石見美術館
9	J.R.スエフ	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より シルク・カシミアのローブ、ウール・ベルベットのジャケット	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
10	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 午前に着るグリーン・グレー色のウールのテラード・スーツ	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 緑のサージとチェックの狩猟服	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 小妖精	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 午後の服装	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 復活祭の休暇のローブ	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	テキスタイル 「アポロンの二頭立て馬車」	1925年頃	絹、織り	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
16	ラウル・デュフィ	テキスタイル 「古い小館または騎馬の男と女」	1919年	綿にプリント	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	テキスタイル 「狩り」	1912年	麻にプリント	島根県立石見美術館
18	香月 泰男	鯉と犬	昭和25年(1950)	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
19	不詳	引札(ネズミの綱渡り)	明治時代	木版・紙	島根県立古代出雲歴史博物館
20	不詳	引札(大黒さんと二股大根)	明治～大正時代頃	木版・紙	島根県立古代出雲歴史博物館
21	中村 松間斎	「猛禽図(鷹に猿) 高時絵印籠」	江戸時代末期	高時絵	島根県立石見美術館
22	龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	島根県立石見美術館
23	富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	イノシシの牙	島根県立石見美術館
24	不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	イノシシの牙	島根県立石見美術館

## 展示室A 新発見! とっとり・しまね発掘速報展

会 期：平成21年2月21日(土)～3月15日(日)

内 容：鳥取県・島根県における近年の発掘調査で出土した遺物を中心に公開。鳥取県埋蔵文化財センター・島根県教育庁埋蔵文化財調査センターとの共催。

## 出品リスト

No.	種別	細別	点数	遺跡名	時代	所蔵
1	石器	ナイフ	1	新槇原遺跡	旧石器時代	益田市教育委員会
2	石器	縦長剥片	1	新槇原遺跡	旧石器時代	益田市教育委員会
3	石器	横長剥片	1	新槇原遺跡	旧石器時代	益田市教育委員会
4	石器	石刃	1	新槇原遺跡	旧石器時代	益田市教育委員会
5	石器	槍先	1	新槇原遺跡	旧石器時代	益田市教育委員会
6	石器	地層パネル	1	新槇原遺跡	旧石器時代	益田市教育委員会
7	石器	ナイフ形石器	1	喜時雨遺跡	旧石器時代	津和野町教育委員会
8	石器	尖頭器	1	久城西II遺跡	旧石器時代	島根県教育委員会
9	石器	尖頭器	1	堂ノ上遺跡	旧石器時代	島根県教育委員会
10	石器	磨製石斧	1	沖手遺跡	旧石器時代	島根県教育委員会
11	集石炉模型		1	田中ノ尻遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
12	縄文土器	押型土器	7	上ノ原遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
13	縄文土器	無文土器	11	上ノ原遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
14	縄文土器	深鉢	2	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
15	縄文土器	破片	18	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
16	石器	石核	1	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
17	石器	スクレイパー	1	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
18	石器	石匙	2	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
19	石器	石鏃	2	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
20	石器	槍先	1	中ノ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
21	石器	短冊型打製石斧	1	前田尻遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
22	石器	石冠様石器	1	沖ノ原遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
23	石器	石鏃	1	ヨレ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
24	縄文土器	深鉢	1	ヨレ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
25	縄文土器	破片	2	ヨレ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
26	土製品	土偶	1	ヨレ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
27	土製品	鳥形土製品	2	ヨレ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
28	土製品	円盤型線刻土製品	1	ヨレ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
29	縄文土器	浅鉢	1	石ヶ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
30	縄文土器	注口土器	1	石ヶ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
31	縄文土器	破片	11	石ヶ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
32	土製品	耳栓	1	石ヶ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
33	石器	石皿	1	石ヶ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
34	石器	石匙	1	石ヶ坪遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
35	縄文土器	無文土器	3	蔵屋敷田遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
36	縄文土器	破片	4	広戸B遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
37	石器	石鏃	10	広戸AB遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
38	縄文土器	浅鉢	1	水田ノ上遺跡	縄文時代	益田市教育委員会

No.	種別	細別	点数	遺跡名	時代	所蔵
39	土製品	土偶	1	水田ノ上遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
40	土製品	円盤型線刻土製品	1	水田ノ上遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
41	石器	撥型打製石斧	1	水田ノ上遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
42	石器	磨製石斧	2	水田ノ上遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
43	石器	磨石	1	水田ノ上遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
44	縄文土器	浅鉢	1	芝遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
45	縄文土器	破片	1	五百田遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
46	石製品	けつ状耳飾り	1	土井田遺跡	縄文時代	個人
47	石製品	刀状石製品	1	浜子遺跡	縄文時代	個人
48	石製品	線刻のある石	1	浜子遺跡	縄文時代	個人
49	縄文土器	破片	12	大蔭遺跡	縄文時代	津和野町教育委員会
50	石器	石錐	1	イセ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
51	石器	石匙	1	イセ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
52	縄文土器	破片	1	イセ遺跡	縄文時代	益田市教育委員会
53	滑石サンプル(長崎県西彼杵半島産)		1			益田市教育委員会
54	安山岩サンプル(広島県冠山産)		1			益田市教育委員会
55	黒曜石サンプル(佐賀県腰岳産)		1			益田市教育委員会
56	黒曜石サンプル(大分県姫島産)		1			益田市教育委員会
57	青銅器	銅戈	1	水田ノ上遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
58	弥生土器	壺	1	中小路遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
59	弥生土器	甕	1	中小路遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
60	弥生土器	鼓型器台	1	中小路遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
61	弥生土器	手づくね土器	1	中小路遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
62	土器棺剥ぎ取り模型		1	中小路遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
63	石器	石包丁	1	中小路遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
64	弥生土器	壺	1	沖手遺跡	弥生時代	島根県教育委員会
65	弥生土器	壺	1	浜寄地方遺跡	弥生時代	島根県教育委員会
66	弥生土器	甕	1	羽場遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
67	弥生土器	壺	1	羽場遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
68	石器	磨製石斧	1	羽場遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
69	石器	石鎌	7	羽場遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
70	弥生土器	壺	2	イセ遺跡	弥生時代	益田市教育委員会
71	弥生土器	壺	1	久城西II遺跡	弥生時代	島根県教育委員会
72	弥生土器	甕	1	堂ノ上遺跡	弥生時代	島根県教育委員会
73	土師器	高坏	2	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
74	土師器	低脚坏	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
75	土師器	甕	2	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
76	土師器	小型丸底壺	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
77	土師器	壺	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
78	土師器	長頸壺	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
79	土師器	小型器台	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
80	土師器	鼓型器台	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
81	土師器	手づくね土器	7	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
82	石器	石鎌	1	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
83	木製品	鋤	2	浜寄地方遺跡	古墳時代	島根県教育委員会
84	鏡	三角縁神獣鏡	1	四ツ塚山古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
85	埴輪	円筒埴輪	1	大元1号墳	古墳時代	益田市教育委員会
86	埴輪	円筒埴輪片	5	スクモ塚古墳	古墳時代	島根県教育委員会
87	馬具	馬鐸	3	小丸山古墳	古墳時代	益田市教育委員会
88	馬具	鈴杏葉	1	小丸山古墳	古墳時代	益田市教育委員会
89	鏡	珠文鏡	1	小丸山古墳	古墳時代	益田市教育委員会
90	大刀	装飾付き大刀柄頭	1	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
91	須恵器	高坏	1	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
92	須恵器	壺	1	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
93	須恵器	蓋	1	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
94	須恵器	坏身	1	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
95	須恵器	高坏	1	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
96	玉類	ガラス小玉	34	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
97	玉類	勾玉	6	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
98	玉類	水晶玉	7	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
99	玉類	管玉	7	鶯ノ鼻古墳群	古墳時代	益田市教育委員会
100	須恵器	壺	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
101	須恵器	子持壺	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
102	須恵器	はそう	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会

No.	種別	細別	点数	遺跡名	時代	所蔵
103	須恵器	高坏	2	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
104	須恵器	横瓶	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
105	須恵器	提瓶	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
106	須恵器	コップ型土器	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
107	玉類	ガラス小玉	56	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
108	玉類	勾玉	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
109	玉類	管玉	4	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
110	玉類	水晶玉	4	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
111	金属製品	ころく飾り金具	1	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
112	金属製品	耳環	4	北長迫横穴墓群	古墳時代	益田市教育委員会
113	土師器	甕	1	長グロ遺跡	古墳時代	益田市教育委員会
114	須恵器	蓋	1	長グロ遺跡	古墳時代	益田市教育委員会
115	須恵器	高坏	1	長グロ遺跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
116	須恵器	蓋	2	長グロ遺跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
117	須恵器	坏(墨書土器)	3	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
118	須恵器	坏身	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
119	須恵器	蓋	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
120	木製品	下駄	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
121	木製品	火きり臼	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
122	木製品	楕円形板材	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
123	木製品	木簡	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
124	鉄滓	椀形滓	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
125	鉄鉱石		1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
126	土製品	羽口	1	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
127	銅製品	巡方	2	大婦ヶ遺跡	奈良・平安時代	津和野町教育委員会
128	須恵器	高坏	2	本片子窯跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
129	須恵器	蓋	1	本片子窯跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
130	須恵器	壺	1	本片子窯跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
131	須恵器	甕	1	本片子窯跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
132	須恵器	破片	11	本片子窯跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
133	須恵器	高坏	1	本片子窯跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
134	須恵器	円面硯	6	酒屋原遺跡	奈良・平安時代	益田市教育委員会
135	須恵器	坏身	2	大溢遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
136	須恵器	蓋	1	大溢遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
137	須恵器	短頸壺	1	大溢遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
138	須恵器	高坏	1	大溢遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
139	石器	金床石	1	久城東遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
140	石器	砥石	1	久城東遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
141	須恵器	坏	3	久城東遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
142	須恵器	蓋	1	久城東遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
143	鉄滓	椀形滓	1	久城東遺跡	奈良・平安時代	島根県教育委員会
144	陶器	緑釉陶器	4	下都茂原遺跡	平安・鎌倉・室町時代	益田市教育委員会
145	陶磁器	貿易陶磁	23	三宅御土居跡	平安末～安土桃山時代	益田市教育委員会
146	土師器	かわらけ	2	三宅御土居跡	平安末～安土桃山時代	益田市教育委員会
147	陶製経筒	筒形越州窯系青磁	1	豊田神社所蔵	平安末～鎌倉時代	豊田神社(県指定)
148	陶製経筒	筒形(国産)	1	豊田神社所蔵	平安末～鎌倉時代	豊田神社(県指定)
149	陶製経筒	華南製褐釉四耳壺	3	豊田神社所蔵	平安末～鎌倉時代	豊田神社(県指定)
150	磁磁器	朝鮮陶磁	15	中須西原遺跡	室町・安土桃山時代	益田市教育委員会
151	磁磁器	鉄絵瑠璃釉鉢	1	中須西原遺跡	鎌倉・室町時代	益田市教育委員会
152	磁磁器	鉄絵皿(ベトナム製)	1	中須西原遺跡	室町時代	益田市教育委員会
153	木製品	仏手	1	浜寄地方遺跡	平安末～鎌倉時代	島根県教育委員会
154	陶磁器	朝鮮王朝碗	1	殿屋敷遺跡	鎌倉～室町時代	益田市教育委員会
155	陶磁器	中国製染付碗	1	殿屋敷遺跡	鎌倉～室町時代	益田市教育委員会
156	陶磁器	青磁碗	2	殿屋敷遺跡	鎌倉～室町時代	益田市教育委員会
157	陶磁器	ベトナム古陶片口	1	殿屋敷遺跡	鎌倉～室町時代	益田市教育委員会
158	陶磁器	青白磁梅瓶	2	山根ノ下遺跡	室町時代	益田市教育委員会
159	陶磁器	景德鎮産白磁	1	山根ノ下遺跡	室町時代	益田市教育委員会
160	陶磁器	象嵌青磁	1	山根ノ下遺跡	室町時代	益田市教育委員会
161	陶磁器	中国製翡翠釉小皿	1	水田ノ上遺跡	室町時代	益田市教育委員会
162	土製品	塑造地藏菩薩椅座像	1	森ヶ溢塚	室町時代	益田市教育委員会
163	豆板銀		1	殿屋敷遺跡	江戸時代	益田市教育委員会
164	陶器	土錘	3	仁右工門山窯跡	江戸時代	島根県教育委員会
165	陶器	甕	2	仁右工門山窯跡	江戸時代	島根県教育委員会
166	瓦	棟止瓦	1	仁右工門山窯跡	江戸時代	島根県教育委員会

No.	種別	細別	点数	遺跡名	時代	所蔵
167	陶器	獅子	1	仁右エ門山窯跡	江戸時代	島根県教育委員会
168	喜阿弥焼		2			益田市教育委員会
169	白上焼		2			益田市教育委員会

## 印刷物

展覧会チラシ：A4

## 関連事業

## ギャラリートーク(展示解説)

講師：川原 和人(島根県埋蔵文化財調査センター所長)

日時：2月21日(土)10:00～

会場：講義室

## 講演会 「考古学から語る“いにしえ”の石西」

講師：柳浦 俊一(島根県埋蔵文化財調査センター)、丹羽野 裕(島根県埋蔵文化財調査センター)、長澤 和幸(益田市教育委員会文化振興課)

日時：3月7日(土)13:00～

会場：多目的ギャラリー

## 展示室A 西 晴雲

会期：平成21年3月18日(水)～5月11日(月)

内容：島根県立美術館および当館のコレクションにより、大田市出身の南画家、西 晴雲の作品を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	西 晴雲	四季花木図	大正時代末頃	紙本着色、四幅対	島根県立石見美術館
2	西 晴雲	老松図	大正5年(1916)	紙本墨画、軸	島根県立美術館
3	西 晴雲	瑞祥仙桃図	昭和14年(1939)	紙本着色、軸	島根県立美術館
4	西 晴雲	緑陰仙居・湖南漁舟	昭和3年(1928)	紙本着色、六曲一双屏風	島根県立石見美術館
5	西 晴雲	太湖養鴨図	昭和12年(1937)	紙本着色、軸	島根県立美術館
6	西 晴雲	梅江鶉飼図	昭和14年(1939)	紙本着色、軸	島根県立美術館
7	西 晴雲	魚楽図	昭和12年(1937)	紙本着色、軸	島根県立美術館
8	西 晴雲	蘆山五老峰図	昭和14年(1939)	紙本着色、軸	島根県立美術館
9	西 晴雲	童遊	昭和32年(1957)	紙本着色、軸	島根県立美術館
10	西 晴雲	鄱陽渡船図	昭和33年(1958)	紙本着色、軸	島根県立美術館
11	西 晴雲	長江戎克図	昭和35年(1960)	紙本着色、軸	島根県立美術館
12	西 晴雲	瑞桃図	昭和37年(1962)	紙本着色、軸	島根県立美術館
13	西 晴雲	群蟹籠中図	昭和37年(1962)	紙本着色、軸	島根県立美術館
14	西 晴雲	竹林書院図	昭和28年(1953)	紙本着色、軸	島根県立美術館
15	西 晴雲	寿山焼 色絵戒克図大皿	不詳	陶土 色絵付	島根県立美術館
16	西 晴雲	萩焼 色絵人物図丸香炉	不詳	陶土 色絵付	島根県立美術館
17	西 晴雲	寿山焼 色絵花鳥図皿	不詳	陶土 色絵付	島根県立美術館
18	西 晴雲	寿山焼 色絵四方花生	不詳	陶土 色絵付	島根県立美術館
19	西 晴雲	萩焼 色絵人物図急須・湯呑	不詳	陶土 色絵付	島根県立美術館
20	西 晴雲	萩焼 色絵人物絵替銘々皿	不詳	陶土 色絵付	島根県立美術館

## 展示室B 平成の萬福寺出開帳展

会 期：平成20年7月16日(水)～9月3日(水)

内 容：益田市萬福寺の重要文化財「二河白道図」を特別公開した。展示室内には、この作品1点のみを展示し、ケース前に畳を敷いて鑑賞できるようにした。

### 出品リスト

No.	分類	指定	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	絵画	重要文化財	二河白道図	鎌倉時代	絹本着色	萬福寺

### 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)

### 関連事業

#### 美術講座 「萬福寺の二河白道図と出開帳」

講 師：的野 克之(島根県立古代出雲歴史博物館)

日 時：7月19日(土)14:00～15:00

会 場：講義室

聴 講 者：30名



展覧会チラシ

## 展示室B observers 平川紀通

会 期：平成20年11月8日(土)～1月5日(月)

内 容：平成16年度文化庁メディア芸術祭 アート部門優秀賞を受賞したアーティスト平川紀通(浜田市出身)の個展。平川が多用するコンピューターの性質を踏まえた上で、「今、ここで起きている」とはどういうことなのかを新作3点から探るというものであった。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	形式	所蔵
1	平川 紀通	standard observation / 標準観測	2008年	インスタレーション	作家
2	平川 紀通	instances / インスタンス	2008年	フォト・シリーズ	作家
3	平川 紀通	a circular structure for the internal observer / 内部観測者のための円環構造	2008年	インスタレーション	作家

### 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：平川 紀通)

### 展覧会紹介記事

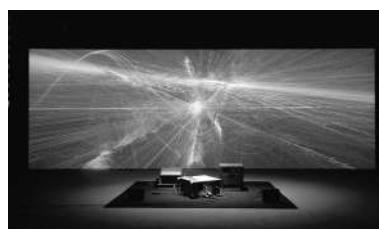
朝日新聞11月20日 南目 美輝 [いわみ美術回廊リレーエッセイ]「日常を「映像作品」に」

読売新聞11月27日 [展覧会紹介]

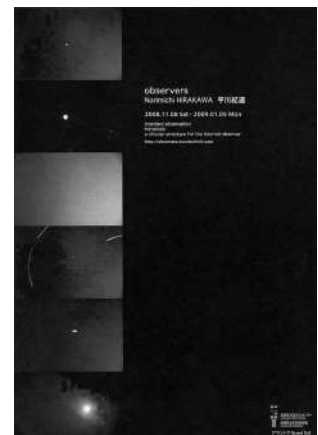
THE JAPAN TIMES 12月4日 [展覧会紹介]

ARTSCAPE 阿部 一直 [学芸員レポート]

「表象上の1点(平川紀通「observers」)」



会 場



展覧会チラシ

## 展示室C 細江英公 薔薇刑

会 期：平成20年5月24日(土)～7月28日(月)

内 容：写真家、細江英公が三島由紀夫を撮った写真集『薔薇刑』の写真作品を展示した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1-40	細江 英公	『薔薇刑』より(40点)	1961年(プリント2007年)	ゼラチン・シルヴァープリント	個人
41		カメラ「キヤノンL3」			個人
42	三島 由紀夫著	『美の襲撃』	1961年		個人
43	細江 英公	初版『薔薇刑』	1963年		個人
44	細江 英公	国際版／新輯版『薔薇刑 Barakei (Ordeal by Roses)』	1971年		個人
45	細江 英公	新版『薔薇刑』	1984年		個人

## 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：H for Graphics)

## 関連事業

## 講演会 「細江英公の写真：薔薇刑を中心に」

講 師：細江 英公(写真家)

日 時：5月24日(土)14:00～15:30

会 場：講義室

聴 講 者：83名



展覧会チラシ

## 展示室C 「牛嶋均展 人智の研究 ver.6 遊具—武器—遊具」

会 期：平成20年10月3日(金)～11月24日(月・祝)

内 容：国内外で活躍するアーティスト牛嶋均の個展。大型のジャングルジムの戦車という作品は、登るなど作品を体験することも可能であり、多くの学校団体などが利用した。会期中に開催された「きんさいデー」の際、中庭に展示された「お風呂」も牛嶋によるものである。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	牛嶋 均	人智の研究 ver.1 遊具	2002年		作家
2	牛嶋 均	人智の研究 ver.2 キチ+リヤカー	2002年		作家

## 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：牛嶋 均)

## 関連事業

## ワークショップ 「お椀型のボート(お風呂)に入ろう」

講 師：牛嶋 均、原田 進(左官職人)

日 時：10月12日(日)10:30～15:30

事業詳細はp.31「教育普及活動」【開館特別事業】を参照されたい。



展覧会チラシ

## 展示室C 文化功労者顕彰記念 木のぬくもり 澄川喜一と木の彫刻

会 期：平成20年11月28日(金)～平成21年1月19日(月)

内 容：当館館長澄川喜一の文化功労者に選定されたことを顕彰して、島根県立美術館、石見美術館、個人蔵のコレクションから、木を素材とした彫刻を展示した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	米原 雲海	仙丹	明治43年(1910)	木彫	島根県立石見美術館
2	内藤 伸	豊公	大正7年(1918)	木彫	個人
3	内藤 伸	重陽菊酒	昭和5年(1930)	木彫	個人
4	植木 茂	トルソ	昭和57年(1982)	木彫	島根県立美術館
5	植木 茂	絆	昭和55年(1980)	木彫	島根県立美術館
6	豊福 知徳	構成I	昭和36年(1961)	木彫	島根県立美術館
7	建畠 覚造	Cloud 4	昭和57年(1982)	木彫	島根県立美術館
8	建畠 覚造	Balloon5(Landscape)	平成9年(1997)	木・FRP・ウレタン塗装	島根県立美術館
9	田窪 恭治	飛竜	昭和58年(1983)	木・金箔・蜜蝋	島根県立美術館
10	田窪 恭治	牛人の館	昭和58年(1983)	木・金箔・蜜蝋	島根県立美術館
11	澄川 喜一	マジック・ボックス	昭和50年(1975)	木彫	個人
12	澄川 喜一	MASK	昭和57年(1982)	木彫	個人
13	澄川 喜一	そりのあるかたち	昭和60年(1985)	木彫	個人
14	澄川 喜一	木の翼B	平成4年(1992)	木彫	島根県立美術館
15	澄川 喜一	そりのあるかたち97-1	平成9年(1997)	木彫	島根県立美術館
16	澄川 喜一	そりのあるかたち04	平成16年(2004)	木彫	個人
17	澄川 喜一	瀧	平成17年(2005)	木彫	個人
18	澄川 喜一	そりのあるかたち	平成19年(2007)	木彫	個人
19	澄川 喜一	木霊	平成19年(2007)	木彫	個人



## 展示室A 感動の日本画、癒しの日本画

会 期：平成20年6月25日(水)～9月1日(月)

内 容：収蔵の日本画より、物語の劇的な場面を描いた作品や、心安らぐ作品を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
2	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本墨画、額	島根県立石見美術館
3	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一双屏風	島根県立石見美術館
4	松本 楓湖	八岐大蛇	明治末～大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
5	松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治42年(1909)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
6	鎬木 清方	花見幕	昭和初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
7	北野 恒富	狂女	大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
8	山本 琴谷	年中行事図屏風	江戸時代末	紙本着色、軸	島根県立石見美術館
9	山本 琴谷	滝見観音	江戸時代末	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
10	寺崎 廣業	竹裡館観月	明治後期～大正初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
11	富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
12	不二木 亜古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
13	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
14	島崎 柳鳥	納涼	明治33年頃(1900)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
15	竹内 栖鳳	藤花葬花群犬図屏風	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双屏風	島根県立石見美術館

## 展示室A 水墨画 雲谷派を中心に

会 期：平成20年11月6日(木)～12月15日(月)

内 容：益田ゆかりの雪舟にちなみ、「雪舟末孫」を名乗った雲谷派の作品を中心に、所蔵品より水墨画の屏風や掛軸を展示した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画、六曲一隻屏風	島根県立石見美術館
2	雲谷 等顔	押絵貼屏風	江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲一双押絵貼屏風	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	四季山水図屏風	元和年間	紙本墨画淡彩、八曲一双屏風	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	山水図屏風	寛永中期	紙本墨画淡彩、六曲一双屏風	島根県立石見美術館
5	斎藤 等室	山水図	江戸時代初期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代初期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
7	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩、三幅対	島根県立石見美術館
8	等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
9	啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
10	狩野 伊川院 栄信(画) / 松平不昧(賛)	富士三保清見寺図	江戸時代後期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館

## 展示室B 木版画の世界

会 期：平成20年4月9日(水)～7月14日(月)

内 容：出雲と石見が生んだ二人の木版画家の作品を紹介。松江生まれの平塚運一の黒白版画、津和野生まれの水津保美の多色木版画を展示した。

## 出品リスト前期 4月9日(水)～6月2日(月)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	平塚 運一	松江城天守閣	昭和6年(1931)	木版・紙	島根県立美術館
2	平塚 運一	臼杵石仏	昭和15年(1940)	木版・紙	島根県立美術館
3	平塚 運一	高野山奥の院	昭和16年(1941)	木版・紙	島根県立美術館
4	平塚 運一	鱒淵寺 是心院 出雲	昭和27年(1952)	木版・紙	島根県立美術館
5	平塚 運一	宍道湖夕雲 出雲	昭和29年(1954)	木版・紙	島根県立美術館
6	平塚 運一	十五夜	昭和32年(1957)	木版・紙	島根県立美術館
7	平塚 運一	暮れゆく妙義	昭和33年(1958)	木版・紙	島根県立美術館
8	平塚 運一	夏雲浅間山	昭和35年(1960)	木版・紙	島根県立美術館
9	平塚 運一	モントロス公園の溪流 ワシントンD.C.	昭和37年(1962)	木版・紙	島根県立美術館
10	平塚 運一	一白亭つくばい ワシントン日本大使館	昭和47年(1972)	木版・紙	島根県立美術館
11	平塚 運一	ミッション・サンルイス・レイド・フランス	昭和48年(1973)	木版・紙	島根県立美術館
12	水津 保美	駒ヶ岳	昭和53年(1978)	木版・紙	個人
13	水津 保美	赤岳	昭和54年(1979)	木版・紙	個人
14	水津 保美	大山	昭和55年(1980)	木版・紙	個人
15	水津 保美	妙高	昭和58年(1983)	木版・紙	個人
16	水津 保美	ツェルマット マッターホルン スイス	昭和61年(1986)	木版・紙	個人
17	水津 保美	津和野	昭和61年(1986)	木版・紙	個人
18	水津 保美	十勝	昭和62年(1987)	木版・紙	個人
19	水津 保美	桜島	平成4年(1992)	木版・紙	個人
20	水津 保美	秋吉台	平成9年(1997)	木版・紙	個人
21	水津 保美	国賀	平成10年(1998)	木版・紙	個人
22	水津 保美	富士(グリーン)	平成13年(2001)	木版・紙	個人
23	水津 保美	大山(伯耆富士)	平成13年(2001)	木版・紙	個人
24	水津 保美	浅間	平成18年(2006)	木版・紙	個人

## 出品リスト後期 6月4日(水)～7月14日(月)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	平塚 運一	小泉八雲旧居 松江	昭和23年(1948)	木版・紙	島根県立美術館
2	平塚 運一	法隆寺夢殿	昭和25年(1950)	木版・紙	島根県立美術館
3	平塚 運一	月照寺	昭和28年(1953)	木版・紙	島根県立美術館
4	平塚 運一	石州有福温泉	昭和28年(1953)	木版・紙	島根県立美術館
5	平塚 運一	奈良薬師寺の唐	昭和35年(1960)	木版・紙	島根県立美術館
6	平塚 運一	ロスアンゼルス町の町はずれ	昭和37年(1962)	木版・紙	島根県立美術館
7	平塚 運一	ジョージタウンの老樹	昭和40年(1965)	木版・紙	島根県立美術館
8	平塚 運一	白い飛び石 桂離宮	昭和43年(1968)	木版・紙	島根県立美術館
9	平塚 運一	唐の石仏菩薩 ワシントンフリアー美術館	昭和45年(1970)	木版・紙	島根県立美術館
10	平塚 運一	十一面観音 近江石道寺	昭和39年(1964)	木版・紙	島根県立美術館
11	平塚 運一	リド島よりの眺め	昭和49年(1974)	木版・紙	島根県立美術館
12	平塚 運一	甲州西ノ湖富士	平成2年(1992)	木版・紙	島根県立美術館
13	水津 保美	甲斐駒	昭和54年(1979)	木版・紙	個人
14	水津 保美	昭和新山	昭和58年(1983)	木版・紙	個人
15	水津 保美	エクス サントビクトワール フランス	昭和61年(1986)	木版・紙	個人
16	水津 保美	立山	昭和63年(1988)	木版・紙	個人
17	水津 保美	霧多布	昭和63年(1988)	木版・紙	個人
18	水津 保美	ハヶ岳	昭和63年(1988)	木版・紙	個人
19	水津 保美	旭岳	平成5年(1993)	木版・紙	個人
20	水津 保美	安蔵寺山	平成8年(1996)	木版・紙	個人
21	水津 保美	セブンシスターズ イギリス	平成11年(1999)	木版・紙	個人
22	水津 保美	芙蓉峰	平成17年(2005)	木版・紙	個人
23	水津 保美	伯耆大山	平成17年(2005)	木版・紙	個人
24	水津 保美	津和野の山	平成18年(2006)	木版・紙	個人

## 展示室B パリの恋人たち

会 期：平成21年1月8日(木)～3月23日(月)

内 容：ファッションナブルなドレスを身にまとう男女の姿を、ファッションプレートと呼ばれる色鮮やかな版画や当時のモダンなドレスなどにより紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・ルパープ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より リボン	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
2	ジョルジュ・ルパープ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 嫉妬	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
3	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 静かにして・・・	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ラグビー	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
5	不詳	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 赤い百合	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
6	ジョルジュ・ルパープ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より さようなら、かわいそうな恋人	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
7	不詳	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 隠れ家への訪問	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
8	不詳	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 憂鬱な結婚	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
9	不詳	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 隣の街	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
10	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より「と ても悲しい...」、あるいは浮気	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11	ベニート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ロンシャン	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 甘えん坊	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 魔法	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14	不詳	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より リビエラの夜	1924～25年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	シャルル・マルタン	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・ モード』より 難しい選択	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
16	ジョルジュ・バルビエ	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・ モード』より 真昼の狂気	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
17	ジョルジュ・ルパープ	『当世風のモードと作法』より 1914年8月	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
18	ジョルジュ・バルビエ	『当世風のモードと作法』より ダンス	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
19	ジョルジュ・バルビエ	『当世風のモードと作法』より 正午に、水の上で	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
20	ジョルジュ・バルビエ	『当世風のモードと作法』より 小島	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
21	ジョルジュ・ルパープ	『当世風のモードと作法』より 休暇中の軍人	1915年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
22	ジョルジュ・ルパープ	『当世風のモードと作法』より 郷愁	1917年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
23	アンドレ・マルティ	『当世風のモードと作法』より 映画	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
24	アンドレ・マルティ	『当世風のモードと作法』より 「オアシス」、輝くスカート	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
25	ジョルジュ・ルパープ	『当世風のモードと作法』より フォックストロット	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
26	アンドレ・マルティ	『当世風のモードと作法』より 仮面舞踏会	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
27	ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年	黒い絹クレープ・デ・シンにシャ ンティティ・レース地を重ねた ワンピース・ドレス。サテン地 のリボン。	島根県立石見美術館
28	スザンヌ・タルボット	コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の 葉と花々を刺繍したテキスタ イル。黒の毛皮のトリミング。 裏地は黒の絹ベルベット。	島根県立石見美術館

## 展示室C 「不思議」を切り取る

会 期：平成20年4月10日(木)～5月21日(水)

内 容：アーティストが独自の視点で切り取った世界は、わたしたちが見慣れたモノや、当たり前と思っている事柄について、別の角度から見たり、考えたりするヒントを与えてくれる。ここでは「不思議」な視点で世界をとらえた画家や写真家の作品を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	永瀬 義郎	祭壇の処女	昭和50年(1975)	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
2	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	ダゴベルト・ベッヒェ	不思議な木	1911～16年	プリント、絹	島根県立石見美術館
5	ベルナルド・フォコン	〈偶像と生贄〉より ミュケナイの門	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
6	ベルナルド・フォコン	〈偶像と生贄〉より 小さな木	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
7	ベルナルド・フォコン	〈時の不確かな進化〉より 島の祭り	1983年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
8	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より デコルテ	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
9	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より ゆがんだヌード	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
10	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より モデルとマネキン	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
11	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より 壊れた鏡	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
12	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より 水の効果	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
13	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より 広告写真の習作	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
14	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より 顔の上の線	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
15	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より 溝付きのガラスのうしろのリゼット	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
16	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より キュビズム風紫色のヌード	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
17	アーヴィン・ブリューメンフェルド	〈エイジ・オブ・エレガンス〉より カドワラダーのドレス	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
18	メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
19	メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
20	ベルナルド・フォコン	〈夏休み〉より 到着	1978年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
21	ベルナルド・フォコン	〈夏休み〉より 悪魔のミントシロップ	1980年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館

## 展示室C 名画への招待 石見美術館油絵名品展

会 期：平成20年7月30日(水)～9月29日(月)

内 容：石見美術館の油絵コレクションから名品を選んで展示した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	不詳	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
3	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年 (1908～1909)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
4	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
5	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
6	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
7	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
8	黒田 清輝	ポプラの黄葉 グレーの秋	明治24年(1891)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
9	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
10	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
11	小堀 四郎	ブルターニュの男	昭和5年(1930)	油彩・紙	島根県立石見美術館
12	和田 英作	海神	大正7年(1918)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
13	児島 善三郎	椅子による	大正14～昭和3年頃 (1925～1928)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
14	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
15	中村 不折	裸婦	明治末～大正初期頃 (1900～1920)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
16	中村 不折	裸体	明治36～38年頃 (1903～1905)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
17	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	風景	大正時代 (1912～1925)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
19	鹿子木 孟郎	加茂の森	大正12年(1923)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
20	吉田 博	風景	大正時代前期 (1911～1920)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
21	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩・板	島根県立石見美術館

## 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)

## 展示室C 1920～30年代のテキスタイル・デザイン展

会 期：平成21年1月22日(木)～3月30日(月)

内 容：企画展「アメリカの見た夢」に合わせて、1920～30年代のフランス、ロシア、オーストリアのテキスタイル・デザインを、当館所蔵作品で紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン28 「チャーリー・チャップリン」	1920年頃	紙、レリーフ・プリント	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン30 「ボントン」	1920年	紙、レリーフ・プリント	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン36 「モザイク・デザイン」	1923年頃	紙、レリーフ・プリント	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン25 「鳥、異国の果物と花」	1912～28年	紙、レリーフ・プリント	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル14「ぶらんこ」	1919年頃	1950年代のリプリント 綿、プリント	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル33「中国人」	1920年頃	シルク、織り	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル34「抽象構成」	1920年頃	シルク、プリント	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル36「アルファベットと花」 ポール・ボワレのためのデザイン	1922年	シルク、プリント	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル46「オレンジとなでしこ」	1927年	シルク、プリント	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル35「漢字(表意文字)」 ポール・ボワレのためのデザイン	1921年	シルク、プリント	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル12「アラム」	1919年	麻布、プリント	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル28「たちあおい」	1918年	シルク、プリント	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル31「ヨーロッパの果物」	1919年	シルク、織り	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル37「虎と象」 ポール・ボワレのためのデザイン	1922年	クレープ、織り	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル39「花・水浴の女・船・貝殻」	1924年頃	モスリン	島根県立石見美術館
16	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』4 1924年 4枚生地のためのデザイン	1925年	紙、ポショワール	島根県立石見美術館
17	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』10 1924年 テキスタイル・デザイン	1925年	紙、ポショワール	島根県立石見美術館
18	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』19 1924年 テキスタイル・デザイン	1925年	紙、ポショワール	島根県立石見美術館
19	ダゴベルト・ベッヒエ	テーブル・センター	1919~20年	シルク、チュールにアップリケ	島根県立石見美術館
20	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン4-2	1929年	紙	島根県立石見美術館
21	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン4-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
22	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン5-7	1929年	紙	島根県立石見美術館
23	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン5-8	不詳	紙	島根県立石見美術館
24	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン5-10	1927年	紙	島根県立石見美術館
25	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン5-12	1927年	紙	島根県立石見美術館
26	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-1	不詳	紙	島根県立石見美術館
27	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-2	不詳	紙	島根県立石見美術館
28	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-3	不詳	紙	島根県立石見美術館
29	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-4	1922年	紙	島根県立石見美術館
30	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-5	不詳	紙	島根県立石見美術館
31	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-6	不詳	紙	島根県立石見美術館
32	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-7	1922年	紙	島根県立石見美術館
33	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-8	1922年	紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
34	マリア・アノーフリ エバ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル・デザイン6-9	不詳	紙	島根県立石見美術館
35	ジナイダ・ベレビッ チ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル・デザイン6-22	不詳	紙	島根県立石見美術館
36	ジナイダ・ベレビッ チ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル・デザイン6-23	不詳	紙	島根県立石見美術館
37	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-1	1927~30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
38	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-2	1920~30年	不詳	島根県立石見美術館
39	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
40	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-4	不詳	不詳	島根県立石見美術館
41	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-5	1930~35年	不詳	島根県立石見美術館
42	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-6「十月革命」	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
43	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-7「産業」	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
44	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-8	不詳	綿、プリント	島根県立石見美術館
45	フェドール・アント ノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-9	不詳	シルク	島根県立石見美術館
46	フェドール・アント ノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-10	不詳	綿、プリント	島根県立石見美術館
47	アナスタシア・シュ イキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-11	不詳	不詳	島根県立石見美術館
48	D. N. プレオブラ ゼンスカヤ	ロシア・アヴァンギャルド期の テキスタイル 7-12「デモンスト レーション」	1932年	綿、プリント	島根県立石見美術館
49	不詳	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 7-13	1927~30年	不詳	島根県立石見美術館
50	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテ キスタイル 8-1「海上の艦隊」	1929~30年	綿、プリント	島根県立石見美術館

**(財)独立書人団島根県支部 第30回記念 益田ブロック書展**

会 期：平成20年6月23日(月)～6月25日(木)  
会 場：展示室D

**第27回 益田市美術展**

会 期：平成20年10月2日(木)～10月5日(日)  
会 場：展示室D

**島根県高等学校文化連盟 美術工芸部門展**

会 期：平成20年12月11日(木)～12月14日(日)  
会 場：展示室D

**第41回 島根県総合美術展(県展) 移動展**

会 期：平成20年12月18日(木)～12月21日(日)  
会 場：展示室D

**並河萬里写真展 —ファインダーがとらえた世界遺産—**

会 期：平成21年3月20日(金・祝)～4月15日(水)  
会 場：展示室D



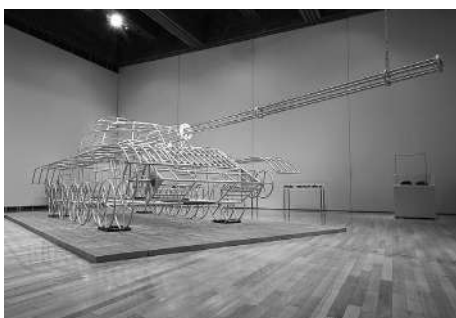
教育普及活動



「お椀型のボート(お風呂)」制作



中庭広場での「お風呂体験」



展示の様子

【開館特別事業】

地域の人々によりアートに親んでもらう機会を提供することを目的に、開館3周年記念日「きんさいデー」にあわせ、アーティスト牛嶋均によるワークショップを実施した。併せて展示室Cでは牛嶋の作品を展示した。

ワークショップ1

牛嶋均、左官職人原田進と一緒に、地域の子もたちがお椀型のボート(お風呂)を制作した。お椀型につくられているボートの外側に、こねた土を塗りつけて仕上げた。

日 時：平成20年8月25日(月)  
 会 場：講義室、美術館トラックヤード  
 参 加 者：15名

ワークショップ2

開館3周年記念日に、地域の子もたちと一緒に制作したお椀型のボート(お風呂)を、中庭広場水盤に設置し、お風呂体験を行った。地元美都温泉より、温泉のお湯を提供していただいた。

日 時：平成20年10月12日(日) 10:30～15:30  
 会 場：中庭広場

展 示

中庭でのワークショップ開催と同時期に、牛嶋均の個展を開催。旧ソ連の戦車をジャングリズムの素材をつかって実寸大で制作した《人智の研究ver.1 遊具》《人智の研究ver.2 キチ+リヤカー》を展示した。これは鑑賞者が実際に遊具として遊ぶことができる作品である。「遊具」であり「武器」の形をしたこの作品は、その両義性ゆえに、それを体験する鑑賞者に大きな問いを投げかけるものでもあった。

会 期：平成20年10月3日(金)～11月24日(月)  
 会 場：展示室C

事業紹介記事

- 朝日新聞10月6日 [展覧会紹介]
- 読売新聞10月10日 [お風呂体験紹介]
- 日本経済新聞10月10日 [お風呂体験紹介]
- 中国新聞10月13日 [お風呂体験紹介]
- 山陰中央新報10月13日 [お風呂体験紹介]

【かえっこバザール】

福岡県在住の美術家、藤浩志氏が提案する子ども達ためのユニークな空間「かえっこバザール」(使わなくなったおもちゃを子供たちが交換するイベント)を平成19年度から継続して開催している。今年度は3回実施した。

【第1回】

日 時：平成20年5月5日(月・祝) 14:00～16:00  
 会 場：多目的ギャラリー  
 参 加 者：63名  
 子どもスタッフ：9名

【第2回】

日 時：平成20年8月17日(日) 14:00～16:00  
 会 場：多目的ギャラリー  
 参 加 者：85名  
 子どもスタッフ：8名

【第3回】

日 時：平成21年1月17日(土) 14:00～16:00  
 会 場：多目的ギャラリー  
 参 加 者：80名  
 子どもスタッフ：9名



「かえっこバザール」の様子

**【教員研修 澄川喜一講演会「郷土の美術家」】**

当館館長澄川喜一による教師向け講演会。

日 時：平成20年6月20日(金) 18:00～

講 師：澄川 喜一

参 加 者：33名

**【教員研修 「鑑賞の仕方について(対話型鑑賞法)」】**

日 時：平成20年7月30日(水) 10:00～17:00

講 師：真住 貴子

参 加 者：20名

**【出前講座】**

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は11回実施した。

**「掛軸・屏風を楽しむ」**

日 時：平成20年7月24日(木) 14:00～15:30

講 師：川西 由里

参 加 者：津和野町立小川公民館 成人学級

**「森鷗外ゆかりの美術について」**

日 時：平成21年8月21日(木) 14:00～15:30

講 師：川西 由里

参 加 者：島根県高文連文学専門部夏期講習会

**「森鷗外ゆかりの美術について」**

日 時：平成21年8月29日(金) 13:00～15:00

講 師：川西 由里

参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校(21名)

**「掛軸・屏風を楽しむ」**

日 時：平成21年9月17日(水) 9:30～10:30

講 師：川西 由里

参 加 者：津和野町立木部公民館 成人学級

**「対話型鑑賞法「絵の中を遠足」」**

日 時：平成20年10月14日(火) 10:40～11:25、14:00～14:45、14:55～15:40

講 師：真住 貴子

参 加 者：益田市高津小学校 3年生(計112名)

**「郷土の美術家」**

日 時：平成21年1月13日(火) 13:00～15:00

講 師：真住 貴子

参 加 者：シマネスクくにびき学園東部校(33名)

**「対話型鑑賞法「絵の中を遠足」」**

日 時：平成21年2月13日(金) 11:35～12:20、14:00～14:45

講 師：真住 貴子

参 加 者：益田市立豊川小学校 3,4年生(計22名)

### 「身の回りのものをデザインしよう」

デザイン画を鑑賞した後、ハンカチなど身の回りの物のデザイン画を描いた。

日 時：平成21年2月25日(水) 14:00～14:45

講 師：南目 美輝

参 加 者：益田市立豊川小学校 5年生(9名)

### 「対話型鑑賞法「絵の中を遠足」」

日 時：平成21年2月25日(水) 14:55～15:40

講 師：真住 貴子

参 加 者：益田市立豊川小学校 5年生(9名)

### 「対話型鑑賞法「絵の中を遠足」」

日 時：平成21年2月26日(木) 14:00～15:30

講 師：真住 貴子

参 加 者：益田市立豊川小学校 6年生(16名)

### 「掛軸・屏風を楽しもう」

日 時：平成21年3月23日(月) 9:50～11:40

講 師：川西 由里

参 加 者：益田市立高津中学校(77名)

### 【ワークショップ受け入れ】

地域の保育所からの要請により、展覧会鑑賞とワークショップを実施した。

「大下藤次郎の水彩画」展、「牛嶋均展」を鑑賞、作品体験した。その後、空き箱や、ペットボトルをつかって「遊具」をつくるワークショップを行った。

日 時：平成20年11月21日(金) 10:00～12:00

講 師：南目 美輝、川西 由里

参 加 者：吉田保育所、原浜保育所(計41名)

### 【博物館実習】

日 時：平成20年8月18日(月)～8月22日(金)

参 加 者：山口大学、山口県立大学(計2名)

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうちの美術館ボランティアには、「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」のふたつがあり、それぞれ10数名のボランティアが活動している。

### 【ギャラリートークボランティア】

コレクション展について、会期中の土日、午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)の交代制で実施。各展覧会のトーク開始前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を受講している。

#### 活動記録

- 4月 9日～ 7月14日 コレクション展「木版画の世界」
- 6月25日～ 9月 1日 コレクション展「感動の日本画、癒しの日本画」
- 7月30日～ 9月29日 コレクション展「名画への招待 石見美術館油絵名品展」
- 11月 6日～12月15日 コレクション展「水墨画 雲谷派を中心に」
- 11月28日～ 1月19日 特別展「文化功労者顕彰記念 木のぬくもり 澄川喜一と木の彫刻」
- 12月17日～ 2月16日 特別展「十二支をさがせ!」

### 【ワークショップボランティア】

企画展関連のワークショップから学校での出前講座まで、さまざまな企画についてボランティアはアシスタントとして事業に関わっている。

#### 活動記録

- 5月 5日 「かえっこバザール」①
- 8月 2日 ワークショップ「「よせいぎ」を創ろう part.2 自分の「キャラ」を創ろう」①
- 8月17日 「かえっこバザール」②
- 8月25日 ワークショップ「お椀型のポート(お風呂)をつくろう」①
- 9月20日 ワークショップ「「よせいぎ」を創ろう part.2 自分の「キャラ」を創ろう」②
- 10月12日 ワークショップ「お椀型のポート(お風呂)をつくろう」②
- 11月 1日 オープンスタジオ「水彩で絵てがみを描こう」①
- 11月30日 オープンスタジオ「水彩で絵てがみを描こう」②
- 1月17日 「かえっこバザール」③
- 2月 7日 ワークショップ「チョコレートで彫刻をつくって食べよう!」

## 1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる

## 2. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、  
・浜田市世界こども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,000円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効

## 3. 割引制度

下記に掲げる乗車券等、観覧券を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以东島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)

⑧ 島根県立美術館の観覧券(半券)

⑨ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)

⑩ 提携館が発行する年間パスポート(期限内)

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・サントリーミュージアム[天保山]・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑪ 提携カード

・しまねカード(島根県広島事務所)・しまね子育て応援パスポート(島根県少子化対策推進室)・ちゅーピーくらぶ(株式会社中国新聞社)・ドゥブレ(財団法人広島勤労者職業福祉センター)・とっとり子育て応援パスポート(鳥取県子育て支援総室)・やわらぎカード(株式会社オーエムシーカード)・ゆめカード(株式会社ゆめカード)・JAカード(三菱UFJニコス株式会社)・JAF(社団法人日本自動車連盟)・SDカード(自動車安全運転センター)

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139.0×57.0
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131.0×42.0
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128.0×42.0
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鐔木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
小林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
小林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
小林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129.0×41.0
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125.0×71.0
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150.0×70.0
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

## 油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ・角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ・角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

## 版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	祈り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポブラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレグ ル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園 風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパーブ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚、 エキストラプレート3枚	
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5



作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ポール・イリーヴ	『ポール・ポフレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩獵	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15 III」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15 VII」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15 I」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15 VIII」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 /15 V」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァイン ベルガー	「モード・ウィーン 1914 /15 II」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 /15 IV」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15 IX」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15 XI」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 /15 XII」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 /15 X」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 /15 VI」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『当世風のモードと作法』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダム・エ・ デ・モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巣鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巣鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニュー・サウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907~1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907~1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907~1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907~1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907~1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907~1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907~1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

## 素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6× 16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3× 15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4× 17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお 稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

## 写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	美に至る病 女優になった私(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファープリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々 パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケーブ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン ニューヨーク州ヨンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシティ ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男 ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家 コニー・アイランド ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	〈夏休み〉より 到着	1978年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	〈夏休み〉より 悪魔のミントシロップ	1980年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	〈時の不確かな進化〉より 島の祭り	1983年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	〈偶像と生贄〉より アントワーヌ	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	〈偶像と生贄〉より 小さな木	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	〈偶像と生贄〉より ミュケナイの門	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	〈偶像と生贄〉より デイミトリ	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザール』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×24.0
マーティン・ムンカッチ	ロング・アイランド・ビーチのルシール・プロコウ 『ハーバース・バザール』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	そよ風の中のベニョワール 『ハーバース・バザール』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

## 工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麩	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪の牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	幅4.8 高さ1.5 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・べっ甲・海松	長9.9 幅1.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙刻	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(刻彫)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍍金・銀	高5.0 径4.2

## 彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F. R. P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	高34.0

## 服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	カフタン、ドレス	1960年代後半~1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1960年代後半~1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イヴニング・コート、ショート・ドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965-1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半~1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967~1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「Musique de Nuit」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグランスリーブス、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イヴニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカートは白の絹コース、太陽のモチーフを金色でプリント。プラットフォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リパティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。

作家名	作品名	制作年	材質
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドのはいったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのブラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940~1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグランスリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグランスリーブ。幅広い帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のペチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950~1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラベーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティティ・レースの「ベビー・ドール・ドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。
シャルル=フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたページュのラメ、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボティスとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアス・カット。
ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900~1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919~1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。



作家名	作品名	制作年	材質
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの着付け。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアー・パンツ。
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット。
バコ・ラバンヌ	イヴニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ボワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン・シフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にヘイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン・絹シフォン。
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディスとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス「ブリトヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフック・ファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグランスリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モチナ・ガレンガ	ティー・ガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアン・ビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシル・ワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンブーシェ	イヴニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグランスリーブ。
リバティ商会	コート	不祥	青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラム。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードル・ワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン・ウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。

作家名	作品名	制作年	材質
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグ・パターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリング・ボーン・パターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン系のウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルマー、スカート。
不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールのニット。右肩に釦ファスナー。
不詳	プレイ・スーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
不詳	イヴニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り。
不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン系のゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
不詳	ブレスレット	1930年頃	銀。
不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

## テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒエ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

## テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

## ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

## 寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状
1	彫刻	内藤 伸	豊公	1918(大正7)年	木彫
2	彫刻	内藤 伸	重陽菊酒	1930(昭和5)年	木彫
3	工芸	田中 俊晞	石見根付 おろち	2007(平成19)年	猪牙、彫刻
4	服飾	森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
5	資料	大下藤次郎	大下藤次郎関係資料50点(スケッチ、日記、メモなど)		

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「ボワレとフォルチュニィ コルセットを巡る冒険」 神戸ファッション美術館 平成20年4月17日～7月1日	マリアノ・フォルチュニィ《ブリーツ・ドレス「デルフォス」》白 マリアノ・フォルチュニィ《ブリーツ・ドレス「デルフォス」》赤 マリアノ・フォルチュニィ《チュニック「タバール」》 マリアノ・フォルチュニィ《コート》 ポール・ボワレ《イヴニング・コート「イスファハン」》 ポール・ボワレ《ガーデン・パーティ・ドレス》 ポール・ボワレ《ドライブ用コート》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス「ブリトンヌ」》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス》赤紫色 ポール・ボワレ《デイ・ドレス》デュフィのテキスタイルによる ヴィヴィアン・ウエストウッド《ドレス》 ヴィヴィアン・ウエストウッド《イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」》
「日本女性の美の変遷—江戸300年の美人たち—」 出雲文化伝承館 平成20年10月18日～11月24日	《遊楽美人図》
「1930年代・東京」 東京都庭園美術館 平成20年10月25日～平成21年1月12日	菊池隆志《室内》 武藤嘉門《ショー・ウインドウ》 東郷青児《婦人像》
「セザンヌ礼讃—20世紀絵画への影響と展開」 横浜美術館 平成20年11月15日～平成21年1月25日 北海道立近代美術館 平成21年2月7日～4月12日	安井曾太郎《水浴図》 岸田劉生《静物》
「ボワレとフォルチュニィ—20世紀モードを変えた男たち」 東京都庭園美術館 平成21年1月31日～3月31日	マリアノ・フォルチュニィ《ブリーツ・ドレス「デルフォス」》白 マリアノ・フォルチュニィ《ブリーツ・ドレス「デルフォス」》赤 マリアノ・フォルチュニィ《チュニック「タバール」》 マリアノ・フォルチュニィ《コート》 ポール・ボワレ《イヴニング・コート「イスファハン」》 ポール・ボワレ《「ガーデン・パーティ・ドレス」》 ポール・ボワレ《イヴニング・ドレス》 ポール・ボワレ《ドライブ用コート》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス「ブリトンヌ」》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス》赤紫色 ポール・ボワレ《デイ・ドレス》デュフィのテキスタイルによる ヴィヴィアン・ウエストウッド《ドレス》 ヴィヴィアン・ウエストウッド《イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」》 ラウル・デュフィ《ドール・ヴィルまたはレガッタ》 ラウル・デュフィ《ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「園芸」》 ポール・イリーブ《「ポール・ボワレの衣装」》 ジョルジュ・ルパージュ《「ポール・ボワレの作品」》 ジョルジュ・ルパージュ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より どちら?》 ジョルジュ・ルパージュ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 倦怠》 ジョルジュ・ルパージュ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 早く着いたのかしら?》 ジョルジュ・ルパージュ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 月明かりに》 ジョルジュ・ルパージュ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より ヴェルサイユの宮殿》 ジョルジュ・ルパージュ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 暑すぎる》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より タンジールあるいは流離の魅力》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 田園にむかって開かれた戸口にて》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より こっちよ!》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 鳩》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より ディナーの後、庭園にて》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 忠告者》 アンドレ・マルティ《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より ショートヘアの三美神とヴィーナス》 シャルル・マルタン《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 女王様のお庭》 シャルル・マルタン《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より 連絡》 《「ガゼット・デュ・ボン・トン」より ランヴァン、ボワレ、ヴィオネ、ウォルト》 《「デルフォス」ドレス用ケース》
「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史II 中部・近畿・中国地方編」 東京都写真美術館 平成21年3月7日～5月10日	《大下藤治郎 於京都》 小川一真《森脇英雄送別記念》 《早川銚太郎送別記念》 《早川銚太郎送別記念》 ※全て大下藤次郎肖像写真

入館者数一覧／パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	22,215	2,630	2,672		5,302	5,060	907	2,253	8,220
5月	29,091	5,807	5,581		11,388	4,609	3,103	9,072	16,784
6月	22,147		1,379	1,315	2,694	3,860	3,019	3,258	10,137
7月	23,716	2,637	3,062	402	6,101	4,876	3,097	2,324	10,297
8月	28,465	5,143	4,662		9,805	3,913	2,505	3,010	9,428
9月	29,519	3,449	3,397		6,846	8,640	3,097	5,208	16,945
10月	30,348	4,222	4,347		8,569	7,220	3,582	8,407	19,209
11月	25,350	3,803	3,542		7,345	5,209	2,137	4,763	12,109
12月	24,799	2,204	2,204	2,116	6,524	10,175	1,564	3,227	14,966
1月	21,508	1,904	1,869		3,773	4,039	2,802	3,353	10,194
2月	19,455	1,906	1,947		3,853	1,807	3,855	3,223	8,885
3月	24,517	949	1,786	712	3,447	7,352	4,603	2,246	14,201
合計	301,130	34,654	36,448	4,545	75,647	66,760	34,271	50,344	151,375

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	154	562	47	191	229	907	540	2,630
5月	374	1,537	133	455	695	1,839	774	5,807
6月								0
7月	179	446	63	110	492	380	967	2,637
8月	517	1,922	144	534	686	619	721	5,143
9月	400	932	47	250	866	398	556	3,449
10月	148	499	40	148	2,364	683	340	4,222
11月	339	878	46	274	490	1,169	607	3,803
12月	7	17	5	2	5	48	43	127
1月	111	490	9	97	233	672	292	1,904
2月	73	405	15	183	264	581	385	1,906
3月	10	168	5	66	187	263	250	949
合計	2,312	7,856	554	2,310	6,511	7,559	5,475	32,577

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	154	11	558	182	234	973	560	2,672
5月	374	6	1,307	503	695	1,902	794	5,581
6月		124	387	139	265	406	58	1,379
7月	179	1	522	162	577	596	1,025	3,062
8月	517	1	1,579	539	686	619	721	4,662
9月	400		650	197	1,127	465	558	3,397
10月	148	84	347	140	2,480	803	345	4,347
11月	339	26	663	248	490	1,169	607	3,542
12月	7	2	471	93	451	629	551	2,204
1月	111		482	72	233	672	299	1,869
2月	73		451	140	264	581	438	1,947
3月	10		403	251	243	502	377	1,786
合計	2,312	255	7,820	2,666	7,745	9,317	6,333	36,448

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
国立能楽堂 展	平成20年4月19日～5月26日	35	7,662
KITTY EX 展	平成20年7月18日～9月23日	60	11,229
大下藤次郎 展	平成20年10月10日～12月1日	46	8,152
アメリカの見た夢 展	平成21年1月2日～3月9日	58	4,759
合計			32,577

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2,638	2,667	2,639	2,610	2,618	2,617	2,603	2,565	2,507	2,264	2,213	2,208

## 収支概要

### ■収支概要

#### (1) 支出予算

単位：千円

センター運営費	25,329
指定管理委託費	341,315
展覧会事業費	65,694
企画展示費	60,192
常設展示費	2,461
特別コレクション展示費	3,041
教育普及費	4,764
教育普及(誘客促進)費	4,028
調査研究費	2,335
情報提供事業費	1,451
美術品保存修復事業費	2,369
地域連携による石見神楽開催事業費	4,161
センター利用促進事業費	2,000
センター維持管理事業費	8,000
合 計	461,446

※2月補正額

#### (2) 収入実績

単位：千円

企画展	10,644
常設展	2,136
パスポート	6,004
目的外使用料	3,463
合 計	22,247

※図録販売収入など雑入は含まず

## 島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日  
島根県条例第51号島根県芸術文化センター条例をここに公布する。  
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等は、その指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命じることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日(美術館にあっては、毎週火曜日)
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者(次に掲げる者を除く。)は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展(常設展示室における展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者



## (観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

## (観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

## (指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

## (入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

## (損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

## (秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

## (原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

## (センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

## (罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

## 附 則

## (施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

## (準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

## (供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

## (経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

## 附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
  - ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
  - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
  - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

## 島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日  
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。  
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障がい者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障がい者手帳、療養手帳（知的障がい者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障がい者更生相談所において知的障がい者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障がいの程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障がい者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障がい者の付添人（原則として障がい者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

## 指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

### 記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

## 島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

### 記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

## 施設概要

## ■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

【所在地】 島根県益田市有明町5番15号

【設計期間】 2001年4月～2002年7月

【工事期間】 2002年11月～2005年3月

【設計】 内藤廣建築設計事務所

【構造設計】 空間工学研究所

【設備設計】 明野設備研究所

【コンサルタント】

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

【敷地面積】 36,564.16㎡

【建築面積】 14,068.15㎡

【延床面積】 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

【建蔽率】 38.4%（許容：60%）

【容積率】 52.6%（許容：200%）

【用途】 美術館・劇場

【規模】 地上2階 地下1階

【最高高さ】 32.24m

【構造】 RC造、一部PC、S造

【設備】

## ●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

## ●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

## ●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

## ●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

## ●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

【施工】

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

## 〔諸室面積一覧〕

## 石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

## 共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

## いわみ芸術劇場

大ホール		
●ホワイエ 1F/2F		1436.5㎡
●客席 1F/2F		1153.3㎡
●舞台		1965.3㎡
●親子室		15.1㎡
●要約筆記室		14.7㎡
●調光操作室		29.8㎡
●音響調整室		24.4㎡
●奈落		138.7㎡
●オーケストラピット		89.9㎡
●客席ワゴン収納庫		197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール		
●ホワイエ 1F/2F		478.4㎡
●客席		394.6㎡
●舞台		416.6㎡
●調光操作室		27.3㎡
●音響調整室		26.8㎡
●投映室		12.9㎡

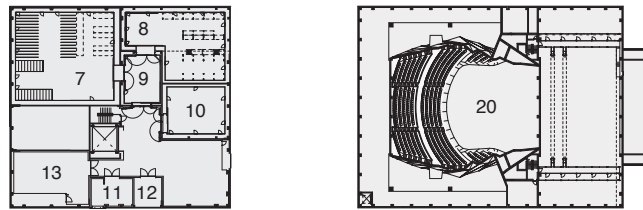
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

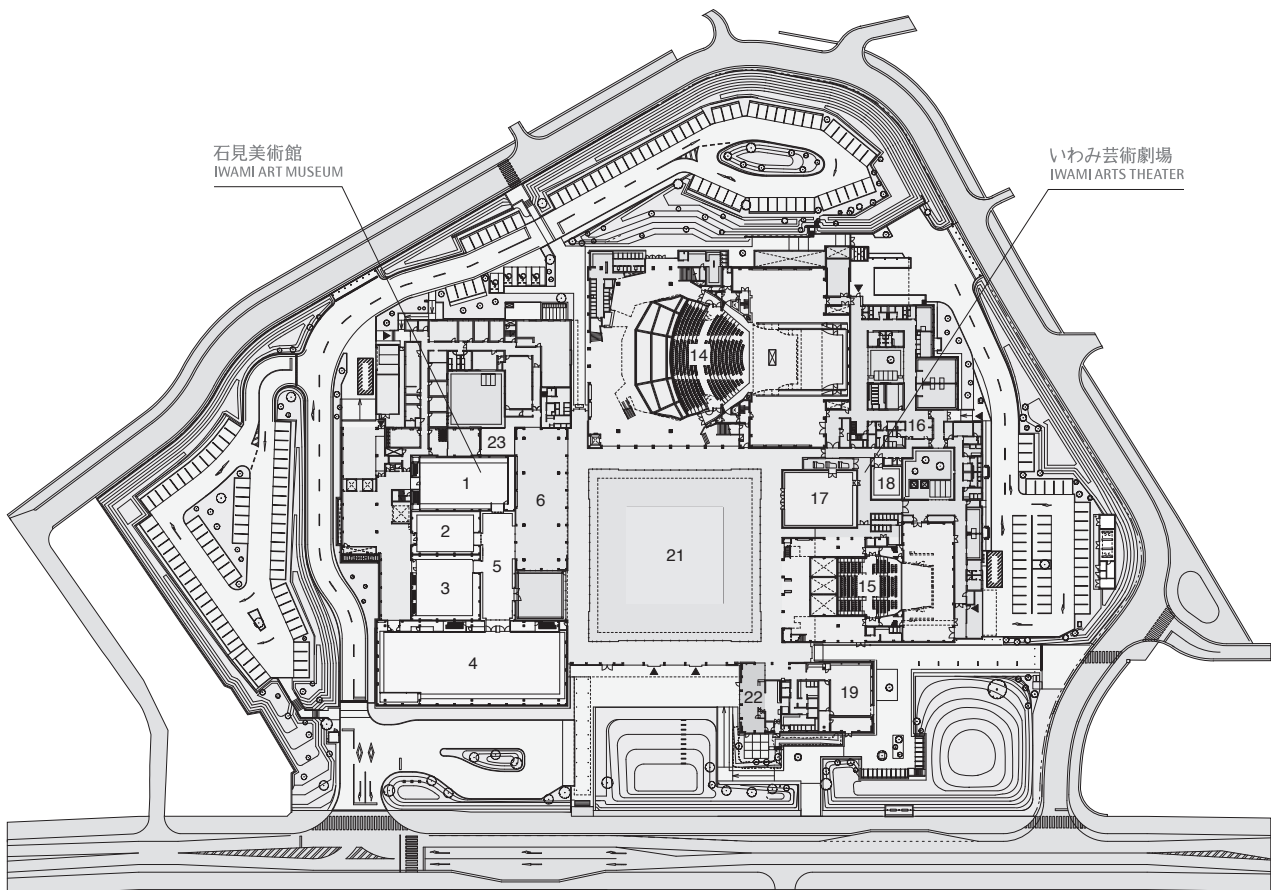
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡



2F



1F



石見美術館

- 1:展示室 A
- 2:展示室 B
- 3:展示室 C
- 4:展示室 D
- 5:展示前室
- 6:美術館ロビー
- 7:収蔵庫 1
- 8:収蔵庫 2
- 9:収蔵庫前室
- 10:一時保管庫
- 11:修復室
- 12:隔離室
- 13:写真室

いわみ芸術劇場

- 14:大ホール
- 15:小ホール
- 16:楽屋
- 17:スタジオ 1
- 18:スタジオ 2
- 19:多目的ギャラリー
- 20:大ホール 2 F 客席
- 21:中庭広場
- 22:レストラン
- 23:ミュージアムショップ

運営組織体制

施設名称

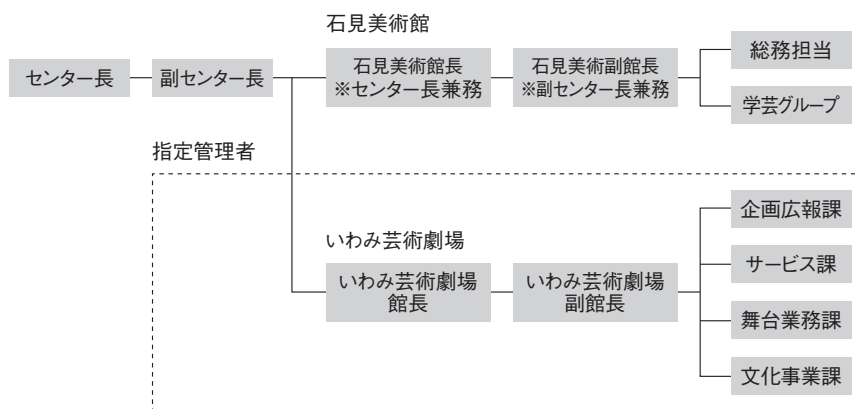
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

- 顧問 高階秀爾(大原美術館館長、元国立西洋美術館館長)  
 遠山敦子(新国立劇場理事長、元文部科学大臣)  
 畠山博治(NHK理事)  
 福原義春(資生堂名誉会長、東京都写真美術館館長)  
 森 英恵(ファッションデザイナー)  
 若杉 弘(びわこホール・東京室内歌劇場芸術監督、東京芸術大学名誉教授、日本芸術院会員)

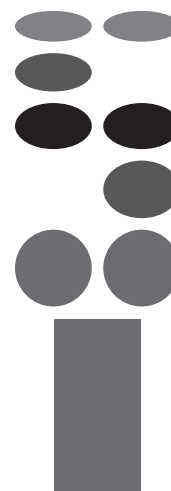
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)  
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始  
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始  
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)  
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

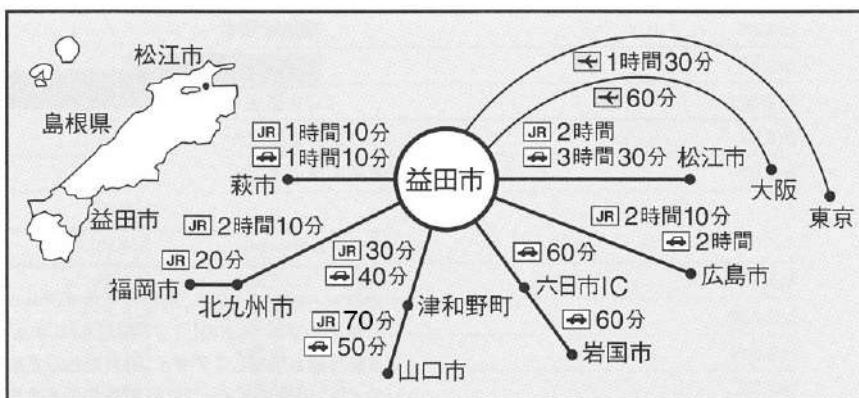
石見美術館観覧料

コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料  
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円  
 ( )内は20名以上の団体料金

- ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
- ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。



交通案内

- ・石見交通「グラントワ前」バス停車(徒歩1分)
- ・JR益田駅から約1km(徒歩15分)
- ・萩・石見空港から約6km(連絡バスJR益田駅まで約15分)
- ・浜田自動車道浜田ICから約40km(自動車約50分)

平成22年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

<http://www.grandtoit.jp> E-mail : [zaidan@grandtoit.jp](mailto:zaidan@grandtoit.jp)